

# 年 報

—平成5年度—

VOL. 12

平成7年3月

長野市立博物館



# 序

長野市立博物館の平成5年4月  
から平成6年3月までの活動と、  
利用の状況をまとめ、ここに年報  
第12号を発行します。

平成7年3月

長野市立博物館

# 目 次

I	博物館日誌	1
1	長野市立博物館一年の歩み	1
2	茶臼山自然史館一年の歩み	2
II	事業報告	3
1	展 示	3
2	天体学習室	12
3	移動博物館	15
4	教育普及	17
5	友の会	23
6	調査研究・収集整理	26
III	博物館収蔵資料	30
1	購入資料	30
2	寄贈資料	31
3	寄託資料	48
IV	博物館管理・運営	49
1	平成5年度歳出当初予算概要	49
2	管理委託業務	49
3	利用状況	50
4	入館者状況	51
5	長野市立博物館協議会	54
6	組 織	55

# I 博物館日誌

## 1 長野市立博物館1年の歩み

- 4月1日 副館長として時田孝久、専門主事として曾根原方教・倉田稔、専門員として小山丈夫が着任
- 4月3日 川中島バス定期観光始まる
- 4月13日 市内小中学校着任校長施設見学で来館
- 4月15日 市内小中学校着任教頭施設見学で来館
- 4月18日 こぶしの花が満開となる
- 4月21日 公園内の桜がほぼ満開となる
- 4月24日～25日 上石川公民館で移動展「飯綱社古墳出土品展」を開催
- 4月27日 前橋市議会議員4名視察
- 5月3日 ゴールデンウィーク中最高の人出となる
- 5月5日 小中学生は無料としたが、思ったより少なかった
- 5月11日 長崎市議会10名視察・県プラネタリウム連絡協議会を中野市で開催
- 5月13日 県博物館協議会に寺島補佐が出席
- 5月29日 公園内で龍生派華道展が開かれる
- 5月30日 博物館友の会総会開催し、友の会が発足する
- 6月3日 北信越博物館協議会総会のため副館長大町市へ出張
- 6月4日 皆既月食を観測
- 6月17日 若穂地区区長会みどりの見学のため来館
- 6月19日 消防署立入検査がある
- 7月4日 特別展「宇宙への挑戦」開催、滝沢教育長出席のもとオープンセレモニーを行う
- 7月7日 松代地震センター運営会議に館長出席
- 7月17日 自然史館特別展「大地のおくりもの」開催
- 7月23日 ミュージアムグッズテレホンカードの販売を開始する
- 7月27日 博物館実習生2名受入(8月1日まで)
- 8月18日 大阪中部助役会20名視察
- 8月19日 久しぶりの太陽がのぞき、夏らしい暑い日となる
- 9月5日 台風13号が通過し、青空が広がる
- 9月7日 県立歴史館準備室で展示室内民家調査に来館
- 9月11日 辻が篠ノ井犬石にて民俗調査
- 9月14日 日中友好協会一行が来館
- 9月17日 経済文教委員会に副館長出席
- 9月19日 特別展「浄土信仰の美」開催
- 9月23日 開館記念日のため無料開放、友の会と共催で博物館まつり開催
- 9月28日 群馬県伊勢崎市文化財調査委員会7名視察
- 9月29日 本城村教育委員16名視察
- 10月1日 長野東郵便局で「長野市の化石と岩石」展開催
- 10月5日 県プラネタリウム連絡協議会が小川村で開催、沖縄県浦添市議会議員一行8名視察
- 10月6日 東京都墨田区議会議員一行16名視察
- 10月14日 静岡県函南町文化財関係者研修視察
- 10月19日 福岡県宗像市議会議員一行9名視察
- 10月20日 川越市児童センター職員がプラネタリウム視察
- 10月23日 前庭のドウダンツツジの紅葉が日増しに濃くなる
- 10月24日 飯綱山が白く雪化粧する
- 10月27日 群馬県新田村教育委員一行視察
- 11月2日 北信濃河東文化観光圏協議会に副館長が出席
- 11月5日 決算特別委員会に副館長出席
- 11月6日 水星の太陽面通過の天体ショーを観測
- 11月10日 高知県越知町町長ほか10名、博物館建設のため視察

- |        |                             |           |                                 |
|--------|-----------------------------|-----------|---------------------------------|
| 11月11日 | 米沢市広報課取材のため来館               | 1月19日     | 三河屋商店保存利用問題について庁内関係課打合せ会議実施     |
| 11月17日 | 長岡市議会議員一行14名視察              | 1月21日     | 同和問題職場研修実施                      |
| 11月18日 | 札幌市議会議員一行4名視察               | 1月27日     | 副館長が博物館指導者研究協会に出席のため、江戸東京博物館に出張 |
| 11月30日 | 考古収蔵庫棚増設工事が始まる              | 2月5日      | 県埋蔵文化財センター主催の発掘速報展が始まる          |
| 12月9日  | 東部町長岡教育長来館                  | 2月14日～28日 | 展示室カーペット張替え及びくん蒸のため休館           |
| 12月11日 | 信州新町化石博物館開館式に副館長出席          | 3月4日      | 常設展券売機が故障する                     |
| 12月16日 | シーラカンスの模型、八十二銀行より寄贈される      | 3月8日      | 大蔵が日本プラネタリウム連絡協議会に出席            |
| 12月17日 | 経済文教委員会に副館長出席               | 3月21日     | 石家市教育衛生視察団来館                    |
| 12月23日 | 外で恒例のもちつきを実施、成城大学民俗学研究所一行来館 | 3月23日     | 博物館協議会開催                        |
| 12月28日 | 仕事納め                        | 3月27日     | 公園内で小学生対象のネイチャリングが行われる          |
| 1月4日   | 仕事始め                        | 3月31日     | 専門主事常盤真重、自然史館事務坂口昭三が本日付で退職      |
| 1月9日   | 友の会主催「弥彦と良寛の里めぐり」見学会実施      |           |                                 |
| 1月14日  | 館長以下3名、東部町教育委員会に出張          |           |                                 |
| 1月17日  | 常設展示室機器類メンテナンス              |           |                                 |

## 2 茶臼山自然史館1年の歩み

- |       |                               |        |                            |
|-------|-------------------------------|--------|----------------------------|
| 4月1日  | 自然史館に専門主事として倉田稔が着任            | 7月28日  | 博物館実習生2名自然史館にて実習           |
| 4月7日  | 玄関テラスの一部分の補修工事完了              | 8月7日   | 丸子町で鉱物教室実施                 |
| 4月28日 | 茶臼山自然史館の野外用看板を新しく設置           | 9月1日   | 京都の中塚敬之助氏より化石寄贈される(約1900点) |
| 5月12日 | 長野市健康管理課「リハビリ教室」の室外訓練で36名来館見学 | 9月30日  | 新潟大学小林巖雄教授他2名来館            |
| 5月23日 | 第1回化石教室を中条村にて実施               | 10月1日  | 長野東郵便局にて移動展「長野市の化石と岩石」開催   |
| 5月26日 | 東京都立久留米養護学校一行35名来館            | 11月10日 | 高知県越知町役場職員一行10名視察          |
| 5月30日 | 第2回化石教室実施(クリーニング・化石模型づくり)     | 12月1日  | 自然史館ミーティングを本日より月2回実施する     |
| 7月17日 | 特別展「大地のおくりもの」開催(9月5日まで)       | 12月16日 | 八十二銀行よりシーラカンスの模型寄贈         |
|       |                               | 3月8日   | 国旗掲揚塔を新しく設置                |
|       |                               | 3月31日  | 事務坂口昭三、本日付で退職              |

# II 事業報告

## 1 展示

### 1) 博物館常設展示

常設展示室における展示の構成・構成等は開館以来基本的には変わらないが、必要に応じて随時更新を行い、改善をしている。本年度は4件について改善及び導入を計った。

#### ●歴史近代コーナー展示替え

長野市立博物館常設展示室の近代コーナーは、「六工社」という長野県最初の民営製糸場の展示がなされるのみでした。そこで、この展示の横に、太平洋戦争に関連した資料を展示しました。

この資料は、以前にある家を解体する際に博物館が収集した資料です。主な展示品は死亡通知書、戦地に向かう際の寄せ書き、軍靴、満州からの荷送り札などです。展示スペースが少ないため、多くの物を並べることはできませんでしたが、近代展示に少しなりとも膨らみがでたと思います。ただ、今後展示改善の余地が多いことは否めない事実です。

#### ●歴史展示資料の複製

1 昨年に引き続き、以下の常設展示室の資料を複製した。

- ①『吾妻鏡』（内閣文庫蔵・重要文化財） 2冊・②口留番所定書 1通・③栗田文書（善光寺大本願蔵） 10通（写真）

#### ●マルチメディア情報システムの導入

常設展示室の情報多様化をめざして、平成5年度は、①クイズと②長野市の文化財をコンピューターによって検索したり遊んだりできるようにした。

(1)使用機種名 マッキントッシュ CENTRIS650

(2)システム内容

##### ①チャレンジクイズ

考古・歴史・民俗・自然・天文の5つのコースのなかから、それぞれ、「難しい」・「普通」・「やさしい」の3つの難易度を選ぶことができる。画面に写真を多く使い、展示室の内容に関連させながら学習効果を高める目的がある。3者択一形式で設問は5問。5～4問できると「優秀」、3～2だと「普通」、1～0だと「残念」といったような3ランクの評価を与える。

##### ②長野市の文化財

長野市内の指定文化財をコンピューター検索によって紹介するシステム。

100余件の指定文化財を、地域別、指定物の種類別、時代別の3つの検索方法から選きだせる。こうした検索のなかから、最終的には見たい文化財の紹介と、写真が画面に表示される。また、文化財に関連した事項についても、最終画面から検索ができるようになっている。

#### ●収蔵品管理システムの導入

収蔵品の管理をコンピューターを使って行うシステムを導入した。

このシステムは入力、修正、追加などを自由に行うことができ、来館者も来館者用コンピューターを使って当館の収蔵品を自由に閲覧することができる。

①システムの構成

導入システムは資料管理、画像入力処理、ワープロの3つの業務処理で構成されている。

資料管理……………収蔵資料をデータベースソフトで管理する。

画像入力処理……イメージスキャナにより資料の画像を取り込み、文字データと連結する。

ワープロ……………市販ソフトを利用して、文字データとして入力する。

②ハードウェア

コンピューター……NEC PC-9821Ap 2台

カラーイメージスキャナー……エプソンGT6500 (透過原稿にも対応)

その他 光磁気ディスク、カラービデオコピー、プリンタ、15インチ及び21インチカラーCRT

③アプリケーションソフトウェア

I・B・MUSEUM、I・B・MUSEUM来館者 (基本ソフトウェアとしてdBASE IVを使用)

④ソフトウェア委託業者

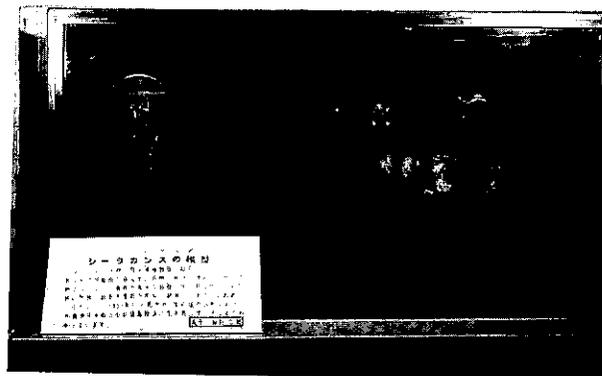
セリオ株式会社 早稲田システム研究所

⑤稼働開始 平成5年5月

## 2) 茶白山自然史館常設展示

常設展示室の構想・構成は基本的には変わらないが、必要に応じて随時追加更新を行っている。本年度は「南極の石」コーナーを再構成して「先カンブリア時代の岩石」に変更し、「古生代」コーナーに展示ケースを1台増設して展示資料を追加した。また、八十二銀行より寄贈されたシーラカンスの模型を玄関ホールに展示した。追加した資料は以下の通りである。

(先カンブリア時代) ストロマトライト (コレニア) 1点・腕足類2点・筆石1点・三葉虫3点・層孔虫1点・四放サンゴ1点・コケムシ1点・海ツボミ1点・ベレロフォン1点・ロボク1点 (中生代) イチョウ1点・アンモナイト1点・矢石1点・二枚貝3点 (その他) シーラカンス模型1点



シーラカンス模型

### 3) 特別展示

#### (A) 「サンシャインプラネタリウム天体写真コンテスト入賞作品展」

「雛人形・五月人形と新収蔵資料展」

- (1) 期間 平成5年4月17日(土)～6月6日(日)
- (2) 出版物 A 2版多色刷りポスター  
A 4版両面刷り二ツ折りパンフレット
- (3) 趣旨

国内では最大級、そしてアマチュア最高レベルの天体写真をみてもらうことで、星や宇宙の美しさ、天体写真の楽しさを実感した。

また、松代藩の御用商人であった八田家から寄贈された資料を中心に雛人形・五月人形の展示と合わせて、平成3・4年度に収集した資料を展示した。

#### (B) 第32回特別展「宇宙への挑戦——日本の宇宙開発——」

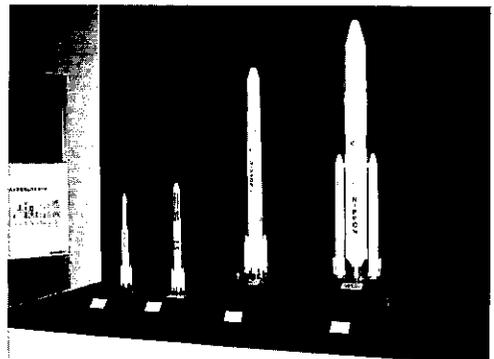
- (1) 期間 平成5年7月4日～8月22日  
(実質開館日数43日)
- (2) 出版物 A 2版多色刷りポスター  
B 5版展示図録(90頁)  
A 4版両面刷り二ツ折りパンフレット
- (3) 趣旨

人類が空を見上げ、宇宙という体系がわかるようになると、地球から出て宇宙へ行きたいという夢が生まれてくる。そんな夢が科学技術の進歩とともに急速に現実のものになってきた。1957年には世界で初めてソ連の人工衛星「スプートニク1号」が上がり、1969年にはアメリカのアポロ11号によって、人類が初めて月に降り立った。

日本でも1970年に初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げに成功し、宇宙時代の幕があいた。今回の展示では日本の宇宙開発の歴史をひもときながら、過去から現在、そして将来の計画にいたるまでを見ることによって、私たちの地球を再発見することを主眼とした。

#### (4) 展示構成

- I 日本の宇宙開発の幕開け  
ペンシルロケット～ベビーロケット



宇宙への挑戦

- II 宇宙を観測する科学衛星  
地球を観測する科学衛星・太陽の観測・宇宙X線の観測・惑星探査・打ち上げロケット
- III 地球を見つめる実用衛星  
技術試験衛星・通信放送衛星・気象地球観測衛星・打ち上げロケット
- IV 地球は大丈夫か?!  
宇宙からみた地球・小天体との衝突・南極の隕石
- V これからの宇宙開発  
宇宙ステーションの建設・ルナーA計画・月面基地・遙かなる火星へ

(5) 催物

- 講演会 「私の彗星搜索」  
木内鶴彦氏 (彗星搜索家)  
7月18日(日)  
「日本の宇宙科学」  
的川泰宣氏 (宇宙科学研究所教授)  
8月1日(日)  
展示説明会 7月10日(土)

(6) 展示資料目録

No.	資 料 名	点数	所 蔵 者	備 考
1	ペンシルロケット	3	林 紀幸	
2	ひてん	1	文部省宇宙科学研究所	実物大模型
3	ようこう	1	文部省宇宙科学研究所	縮小模型
4	ジオテイル	1	文部省宇宙科学研究所	縮小模型
5	はくちょう	1	文部省宇宙科学研究所	縮小模型
6	ジオット	1	文部省宇宙科学研究所	縮小模型
7	ロケット M-3S	1	文部省宇宙科学研究所	縮小模型
8	ロケット M-3S II	1	文部省宇宙科学研究所	縮小模型
9	月ペネトレーター	3	文部省宇宙科学研究所	
10	大気球素材	3	文部省宇宙科学研究所	
11	ロケット M-V	1	文部省宇宙科学研究所	縮小模型
12	すいせい	1	日本電気株式会社横浜事業場	縮小模型
13	技術試験衛星II型 [さく2号] ETS-II	1	(財)宇宙開発事業団	1/8縮小模型
14	技術試験衛星V型 [さく5号] ETS-V	1	(財)宇宙開発事業団	1/8縮小模型
15	電離層観測衛星 [うめ] ISS	1	(財)宇宙開発事業団	1/8縮小模型
16	実験用静止衛星 [あやめ] ECS	1	(財)宇宙開発事業団	1/8縮小模型
17	静止気象衛星 [ひまわり2号]	1	(財)宇宙開発事業団	1/8縮小模型
18	通信衛星 [さくら3号] CS-3	1	(財)宇宙開発事業団	1/8縮小模型
19	放送衛星 [ゆり2号] BS-2	1	(財)宇宙開発事業団	1/8縮小模型
20	N-Iロケット	1	(財)宇宙開発事業団	1/40縮小模型
21	N-IIロケット	1	(財)宇宙開発事業団	1/40縮小模型
22	H-Iロケット	1	(財)宇宙開発事業団	1/25縮小模型
23	H-IIロケット	1	(財)宇宙開発事業団	1/25縮小模型
24	JEM	1	(財)宇宙開発事業団	1/20縮小模型
25	宇宙ステーション	1	(財)宇宙開発事業団	1/100縮小模型
26	海洋観測衛星 [もも1号] MOS-1	1	(財)宇宙開発事業団	1/8縮小模型
27	資源衛星 [ふよう1号] JERS-1	1	(財)宇宙開発事業団	1/10縮小模型
28	地球観測プラットフォーム観測衛星 [アデオS]	1	(財)宇宙開発事業団	1/8縮小模型
29	木島隕石	1	小野沢猛文	

No.	資 料 名	点数	所 蔵 者	備 考
30	K S C (KANDA SYSTEM COCKPIT)	1	西松建設株式会社	
31	地球儀	1	勸りモートセンシング技術センター	
32	マースローバー	1	西松建設株式会社	模 型
33	N A N D A	1	西松建設株式会社	模 型
34	K A N D A	1	西松建設株式会社	模 型
35	月面エスカルゴシティ-2050	1	西松建設株式会社	模 型
36	フォボス	1	西松建設株式会社	模 型
37	近未来地球	1	西松建設株式会社	模 型
38	宇宙ホテル 全景	1	清水建設株式会社	模 型
39	宇宙ホテル ゲストルーム	1	清水建設株式会社	模 型
40	宇宙ホテル ロビーラウンジ	1	清水建設株式会社	模 型
41	月の模擬砂 (シュミラント)	1	清水建設株式会社	
42	通常使われる砂・砂利 (骨材)	1	清水建設株式会社	
43	火星基地マース・ハビテーション I	1	株式会社大林組	模 型
44	立体眼鏡	3	株式会社大林組	
44	月の模擬砂	1	株式会社大林組	
46	隕 石	8	西松建設株式会社	
47	スペースプレーン	1	科学技術庁航空宇宙技術研究所	模 型
48	南極隕石 (隕鉄)	1	国立極地研究所	
49	〃 (コンドライト)	1	国立極地研究所	
50	〃 (炭素質コンドライト)	1	国立極地研究所	
51	コンドライトプレパラート	1	国立極地研究所	
52	気象 F A X 受信システム	1 式	長野市理科教育センター	
53	南極の石	1	長野市立博物館	
54	模擬砂で作ったコンクリートブロック	3	清水建設株式会社	
55	通常の骨材で作ったコンクリートブロック	3	清水建設株式会社	
56	模擬砂で作った建材	3	株式会社大林組	

N A S A 提供スペースシャトル宇宙グッズ

(展示期間7月4日～7月11日)

1. 宇宙食 (DAY FOOD) セット		ハンドクリーム	チューブ入り
苺ヨーグルト	缶入り	ボディシャンプー	アルミパック入り
バタースコッチプリン	缶入り	歯ブラシ	緑ハダカ 赤ポリ入り
西洋梨	缶入り	練り歯磨き	チューブ入り
干し桃	ポリ袋入り	デンタルフロス、ワックス付き	アルミケース入り
ツナサラダペースト	缶入り	リップスティック	スティックタイプ
ポテトグラタン	ポリケース入り	4. 衣 類 (WEAR)	
肉団子の辛トマトソース和え	アルミパック入り	Tシャツ、青	青
オレンジグレープフルーツミックスジュース	アルミパック入り	ナイロン製トレーニング用短パン	紺色
レモネード	アルミパック入り	ハンカチ	白
イタリア風野菜	ポリケース入り	防寒シャツ	グレー
メキシコ風スクランブルエッグ	ポリケース入り	防寒ズボン	グレー
2. 食器セット (SPOON FORK SET)		半袖ポロシャツ	宇宙授業、水色
ナイフ、ギザギザ付き	スプーン 大1	長袖ラガーシャツ	レッドチーム/青紺
スプーン フォーク		赤白Tシャツ	穴あき
缶切り		5. 宇宙授業小道具	
3. トラベルセット (TRABEL SET) *		コマ	木製とコマ
くし		ひも	赤
シャンプー	ポリ瓶入り	紙飛行機	紙製

(C) 第33回特別展「浄土信仰の美——浄土へのあこがれ——」

(1) 期間 平成5年9月19日～10月17日  
(実質開館日数24日)

(2) 出版物 A 2版多色刷ポスター  
B 5版展示図録(29頁)

(3) 趣旨

長野市にある善光寺は中世以来の浄土信仰の中心地として現在まで法燈を守ってきた。わたしたちの長野市は、善光寺のお膝元として、文化はもとより経済的にも大きな影響を受けてきた。

この展示では、こうした善光寺信仰の母体である、浄土信仰とはなにかを説き明かすことを目的とした。

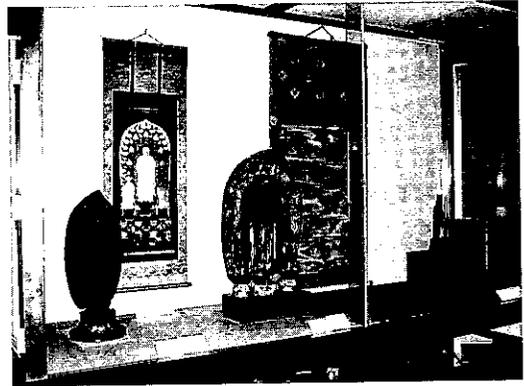
(4) 展示構成

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ①古代における浄土信仰 | ⑤生身如来のお膝元    |
| ②浄土信仰の隆盛    | ⑥祖師絵伝        |
| ③山中浄土       | ⑦聖教(しょうぎょう)  |
| ④海上浄土       | エピローグ～現世と浄土～ |

(5) 催物

- ①“地獄絵”の絵解き 10月3日  
講師 かるかや山西光寺竹澤繁子氏(絵解き研究会会員)
- ②展示説明会 10月10日

(6) 展示資料目録



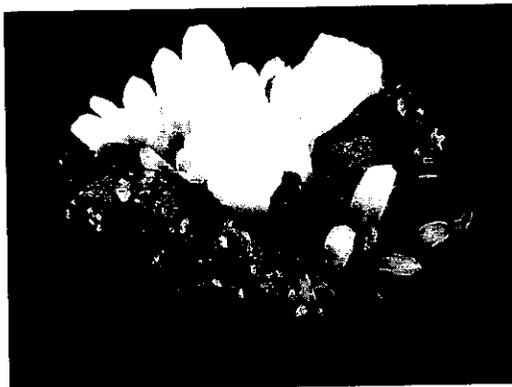
浄土信仰の美

番号	名称	所蔵者(敬称略)	備考
	〈1. 古代における浄土思想〉		
1	銅造宝冠阿弥陀坐像および銅鏡	個人蔵(須坂市)	写真展示 (含 鉄利器)
2	銅製経筒(経ヶ峰経塚出土)	さらしなの里歴史資料館	
3	紺紙金泥般若心経	瑠璃寺(下伊那郡高森町)	
4	紙本著色融通念仏縁起	善光寺・大勸進(長野市)	
	〈2. 浄土信仰の隆盛〉 (浄土の世界)		
5	絹本著色浄土曼荼羅図	甲斐善光寺(山梨県甲府市)	10月3日まで 山梨県指定文化財
6	絹本著色観経曼荼羅図	瑠璃寺(下伊那郡高森町)	10月5日より 同上
7	絹本著色観経曼荼羅図 (阿陀の来迎)	浄蓮寺(須坂市)	
8	木造阿弥陀如来立像	大英寺(長野市松代町)	
9	絹本著色釈迦阿弥陀発遣来迎図	瑠璃寺(下伊那郡高森町)	
10	絹本著色二十五菩薩来迎図	善光寺・大本願(長野市)	
11	絹本著色二十五菩薩来迎図	善光寺・大勸進(長野市)	

番号	名 称	所 蔵 者 (敬称略)	備 考	
12	絹本著色阿弥陀三尊来迎図	善光寺・大勸進 (長野市)	10月3日まで	
13	刺繍阿弥陀三尊来迎図	甲斐善光寺 (山梨県甲府市)		
14	刺繍阿弥陀三尊来迎図	善光寺・大勸進 (長野市)		
15	紙本著色山越阿弥陀三尊来迎図 (地獄の世界)	西光寺 (長野市石堂町)		
16	絹本著色地藏十王図	善光寺・大勸進 (長野市)		
17	紙本著色地獄絵 (名号本尊)	西光寺 (長野市石堂町)		
18	絹本著色十二光仏字名号	長命寺 (長野市南堀)		
19	刺繍六号名号	甲斐善光寺 (山梨県甲府市)		10月3日まで
20	紺紙金泥六字名号	西光寺 (長野市石堂町)		10月5日より
21	真行草の三名号 (仏具)	西蔵寺 (長野市大町)		
22	銅製鉦鼓	中野市教育委員会		長野県宝
23	銅製孔雀文磬および磬架 〈3. 山中浄土〉	高仙寺 (上田市)		上田市指定文化財
24	絹本著色戸隠惣山之図	武田伯雄 (戸隠村中社)		写真展示
25	一字宝塔法華経断簡	久山勝彦 (戸隠村中社)		
26	紺紙金泥法華経	宝界寺 (戸隠村中社)		
27	紙本墨書法華経	世尊院 (長野市)		
28	紙本著色阿弥陀如来像 〈4. 海上浄土〉	武井芳久 (戸隠村中社)		
29	絹本著色補陀落山観音図	定勝寺 (木曾郡大桑村)		
30	紙本著色那智参詣曼荼羅 〈5. 生身如来のお膝元〉	国学院大学図書館 (東京都)		
31	紙本著色一遍上人絵詞伝	来迎寺 (新潟県十日町市)	十日町市指定文化財	
32	紙本著色善光寺如来絵伝	光明寺 (須坂市)		
33	笈 (善光寺三尊の諸態)	光明寺 (須坂市)		
34	紙本著色善光寺三尊図	光明寺 (須坂市)	本城村指定文化財	
35	木造阿弥陀如来三尊像	世尊院 (長野市)		
36	鉄造阿弥陀如来立像	八木虚空蔵堂 (東筑摩郡本城村)		
37	銅造観音菩薩立像 〈6. 祖師絵伝〉	源信寺 (須坂市)		
38	絹本著色法然上人絵伝 (模写本) 〈7. 聖教〉	浄興寺 (新潟県上越市)		
39	古写聖教類 (32冊)	浄興寺 (新潟県上越市)		新潟県指定文化財
40	二枚起請文 〈現世と浄土〉	浄興寺 (新潟県上越市)		新潟県指定文化財
41	阿弥陀来迎板碑	大英寺 (長野市松代町)		
42	石造五輪塔	当館蔵		

(D) 自然史館第8回特別展「大地のおくりもの  
—みぢかな鉱物—」

- (1) 期間 平成5年7月17日～9月5日  
(実質開館日数44日)
- (2) 出版物 A2版多色刷ポスター  
A4版両面刷り二ツ折パンフレット  
B5版展示図録(16頁)
- (3) 趣旨



大地のおくりもの

我々の周りには、非常に多くの鉱物が存在している。地殻を構成する岩石は鉱物の集合体であるし、また我々の周りにある金属や宝石なども天然の鉱物を原料にしている。しかし、このような身近な存在であるにもかかわらず、宝石以外の鉱物に対しては、一般にあまり関心をもちていない。

この特別展は、身の周りで利用されている鉱物に目を向けることをきっかけにして有用な鉱物を知り、併せて鉱物の特徴である多様な色・輝き・規則正しい形などに触れていただくことで鉱物に親しんでいただこうと企画したものである。

- (4) 展示構成
- ①身の周りの鉱物
  - ②鉱物の性質
  - ③大地をつくる鉱物
  - ④長野県の鉱物
  - ⑤いろいろな鉱物
- (5) 資料点数 174点
- (6) 展示資料目録

資料名	産地	所在	資料名	産地	所在
①身の周りの鉱物			キャッツアイ	Bayern	信州大理学部
水晶	不明	畠山由起久	孔雀石	アフリカ	秋田大鉱業博物館
水晶の印材		曾根原方教	ガーネット	Gore mountain, USA	信州大理学部
クリスタルガラス		曾根原方教	緑柱石	岐阜県中津川市苗木町	信州大理学部
水晶のネックレス		曾根原方教	エメラルド	Ural, Russia	信州大理学部
珪石	伊豆宇久須鉱山	長野市立博物館	ルビー	北アメリカ	信州大理学部
ガラス			虎目石	アフリカ	信州大教育学部
珪灰石	大町市仏崎	長野市立博物館	オパール	オーストラリア	畠山由起久
タイル		長野市立博物館	メノウの置物		曾根原方教
カオリナイト		長野市立博物館	メノウネックレス		曾根原方教
陶磁器			ヒル石	福島県阿武隈	長野市立博物館
蛍石	朝鮮	信州大教育学部	白雲母	福島県石川郡石川町	信州大教育学部
蛍石レンズ		大蔵 満	アイロン		
石墨	岐阜県飛騨天生鉱山	長野市立博物館	チリ硝石	南米 チリ	新潟大理学部
鉛筆			②鉱物の性質		
石綿	不明	信州大理学部	透明方解石	木曾郡檜川村	長野市立博物館
あんか		吉田幸文	滑石	旧満州海城	信州大教育学部
軟マンガン鉱	不明	長野市立博物館	石膏	山梨県南巨摩郡静川村	信州大理学部
乾電池			方解石	足尾鉱山	長野市立博物館
石膏		長野市立博物館	蛍石	新潟県東蒲原郡五十島	信州大教育学部
焼石膏			燐灰石		信州大理学部
石膏の置物		曾根原方教	正長石	不明	長野市立博物館
方解石(石灰岩)		長野市立博物館	石英		長野市立博物館
スピネル	スリランカ	信州大理学部	黄玉	ブラジル	信州大理学部
サファイア	スリランカ	信州大理学部	ダイヤモンド		秋田大鉱業博物館

資 料 名	産 地	所 在	資 料 名	産 地	所 在
ガラス切り		曾根原方教	海緑石		長野市立博物館
コランダム		新潟大理学部	玄能石	青木村沓掛温泉	長野市立博物館
グラインダー		長野市立博物館	スコレス沸石	上田市塩田	長野市立博物館
紙やすり			磁鉄鉱	南佐久郡佐久町大日向	長野市立博物館
白雲母	岐阜県中津川市苗木町		サーラ輝石	南佐久郡佐久町大日向	長野市立博物館
方鉛鉱	不明	長野市立博物館	黄銅鉱	南佐久郡佐久町大日向	長野市立博物館
方解石	不明	長野市立博物館	閃亜鉛鉱	南佐久郡佐久町大日向	長野市立博物館
灰重石	朝鮮半島	信州大教育学部	ヒスイ	新潟県糸魚川市	糸魚川市
灰重石	山口県玖珠鉱山	信州大理学部	ネフライト	新潟県糸魚川市小滝川	長野市立博物館
燐灰ウラン鉱	鳥取県麻畑鉱山	信州大教養部	白雲母	北安曇郡小谷村	長野市立博物館
ジルコン	台湾	信州大教育学部	曹長石	北安曇郡小谷村	長野市立博物館
螢石	不明	信州大教育学部	碧玉	北安曇郡小谷村平倉山	長野市立博物館
藍銅鉱	アメリカ	秋田大鉱業博物館	⑤いろいろな鉱物		
青金石	アメリカ	新潟大理学部	石墨		長野市立博物館
雄黄	北海道札幌市常山溪	新潟大理学部	硫黄	箱根大湧谷	長野市立博物館
赤鉄鉱	不明	長野市立博物館	自然金	不明	信州大理学部
鶏冠石	群馬県西ノ牧鉱山	信州大教育学部	自然銅	不明	長野市立博物館
方ソーダ石	北朝鮮江原道平康郡	信州大理学部	水銀	不明	新潟大理学部
③大地をつくる鉱物			自然銀	韓国江原道山田鉱山	秋田大鉱業博物館
石英閃緑岩	長野市松代町大室	長野市立博物館	自然蒼鉛	兵庫県生野鉱山	信州大理学部
皆神山安山岩	長野市松代町皆神山	長野市立博物館	黄鉄鉱	不明	島山由起久
柴石安山岩	長野市松代町柴	長野市立博物館	磁硫鉄鉱	埼玉県秩父鉱山	長野市立博物館
裾花凝灰岩	長野市信里茶臼山	長野市立博物館	硫ヒ鉄鉱	大分県大野郡尾平鉱山	信州大理学部
郷路山安山岩	長野西長野郷路山	長野市立博物館	黄銅鉱	栃木県足尾鉱山	新潟大理学部
翁郷路山安山岩	長野市松代町柴	長野市立博物館	斑銅鉱	山口県棚原鉱山	秋田大鉱業博物館
黒岩玄武岩	長野市芋井黒岩	長野市立博物館	銅藍	アメリカ	秋田大鉱業博物館
石英		長野市立博物館	閃亜鉛鉱	秋田県尾去澤鉱山	信州大教育学部
高温石英	東筑摩郡生坂村	長野市立博物館	輝水鉛鉱	岐阜県白川村馬狩	信州大教育学部
クリストバライト	和歌山県東牟婁郡太地	信州大教育学部	輝安鉱	愛知県市ノ川鉱山	信州大理学部
灰長石	東京都三宅島	信州大教育学部	方鉛鉱	新潟県自板鉱山	新潟大理学部
正長石	不明	長野市立博物館	螢石	新潟県五十島鉱床	新潟大理学部
曹長石	新潟県糸魚川市	信州大教育学部	岩塩	ドイツ スタッツフルト	信州大教育学部
普通輝石	諏訪郡神宮寺	長野市立博物館	氷晶石	グリーンランド	新潟大理学部
紫蘇輝石	台湾台北州	信州大理学部	クロム鉄鉱		信州大教育学部
角閃石	諏訪郡富士見町峠	長野市立博物館	磁鉄鉱	長崎県西彼杵郡大串村	信州大理学部
黒雲母	小県郡和田村	信州大教育学部	紅亜鉛鉱	Franklin	信州大理学部
かんらん石	東京都三宅島	信州大教育学部	煙水晶	不明	新潟大理学部
岩石プレバート		関 啓	紅水晶	ブラジル	信州大教育学部
④長野県の鉱物			メノウ	ブラジル	長野市立博物館
仏頭石	長野市安茂里小市	長野市立博物館	錫石	兵庫県生野鉱山	新潟大理学部
こめ石	長野市安茂里小市	長野市立博物館	高師小僧	愛知県豊橋市高師山	新潟大理学部
蛋白石	長野市篠ノ井塩崎	長野市立博物館	赤銅鉱	秋田県日三市鉱山	新潟大理学部
石英	長野市安茂里小市	長野市立博物館	苦灰石	新潟県赤谷鉱山	新潟大理学部
武石	小県郡武石村下武石	長野市立博物館	方解石	不明	長野市立博物館
武石	小県郡武石村下武石	新潟大理学部	アラレ石	新潟県赤谷鉱山	新潟大理学部
やきもち石	小県郡武石村	信州大理学部	菱マンガン鉱		新潟大理学部
普通輝石	諏訪郡下諏訪町和田峠	長野市立博物館	孔雀石	静岡県蓮台寺鉱山	新潟大理学部
黒耀石	諏訪郡下諏訪町和田峠	長野市立博物館	たんぱん	不明	秋田大鉱業博物館
パーライト		長野市立博物館	雪花石膏	岩手県和賀郡岩沢	信州大教育学部
ザクロ石	諏訪郡下諏訪町和田峠	新潟大理学部	重晶石	秋田県市川原毛鉱山	信州大教育学部
石英	丸子町鹿教湯温泉	長野市立博物館	天青石	Calico Mts. Calif.	信州大教育学部
メノウ	丸子町鹿教湯温泉	長野市立博物館	明ばん石	静岡県宇久須鉱山	新潟大理学部
ちがい石	小県郡独鈷山	長野市立博物館	鉄明ばん石	茅野市諏訪鉄山	長野市立博物館

資 料 名	産 地	所 在	資 料 名	産 地	所 在
灰重石	山梨県	新潟大理学部	斧石	大分県大野郡尾平	新潟大理学部
鉄マンガン重石	不明	新潟大理学部	緑閃石	高知県長岡郡吉野村	信州大教育学部
磷灰石	メキシコ	信州大教育学部	バラ輝石	岩手県野田玉川鉱山	信州大理学部
磷銅鉱	秋田県荒川鉱山	新潟大理学部	魚眼石	新潟県西蒲原郡間瀬	新潟大理学部
モナス石	福岡県真名木村小峠	新潟大理学部	珪孔雀石	新潟県西蒲原郡間瀬	新潟大理学部
シルコン	Near Saigon, Vietnam	信州大理学部	白りゅう石	Roccamonfina, Italy	信州大教育学部
ベスブ石	埼玉県秩父郡秩父鉱山	信州大教育学部	天河石	不明	新潟大理学部
桜石	京都府亀岡市桜天神	信州大理学部	月長石	北朝鮮北道明	信州大教育学部
電気石	福島県石川郡石川	新潟大理学部	方沸石	新潟県西蒲原郡間瀬	新潟大理学部
緑電気石	北アメリカ	信州大理学部	ソーダ沸石	新潟県西蒲原郡間瀬	新潟大理学部
紅電気石	ブラジル	信州大理学部	輝沸石	東京都小笠原島	新潟大理学部
翠銅鉱	コンゴ	秋田大鉱業博物館			

#### 4) 公開展示

昭和56年の開館以来、常設展示室2階「慈悲のまなざし」コーナーに山千寺銅造観音菩薩立像（重要文化財）を開館記念として特別公開展示を行っている。今年度は9月19日から11月7日まで公開した。近年は若槻山千寺の地元で春祭り以外は公開していないため、当館での公開展示に合わせて来館する人も多い。

#### 5) 常設展示等改善事業

常設展は、昭和56年開設以来、これまで長期にわたって固定化しているため、展示改善が懸案事項になっていた。平成5年3月24日の館内会議において、展示改善の件について協議し、平成5年度に博物館協議会に諮問することに決定する。また平成5年度から展示改善に向けて勉強会を実施することにした。

7月10日に協議会長原昌義氏に「博物館常設展示室等の改善について」諮問し、10月16日に答申が提出される。答申書に基づき、展示改善事業に予算措置等の配慮を教育長に求める。その後、教育委員会重要事業の一つとして認められ、平成6年度予算政策的経費に盛り込む。

今年度は、常設展示における自然・考古・歴史・民俗の各分野の分析を行い、問題点を整理した。またアンケート調査の分析や改善年次別計画・費用概算なども手がけた。

## 2 天体学習室（プラネタリウム）

### 1) 概要及び運営方針

当館の天体学習施設としてのプラネタリウムは、ドームの直径が12m、座席数が120で演出しやすい一方座席となっている。（機械は五藤光学GX-A T）

平日は学校教育の一環として理科教育センターが学習投影を行い、土曜・日曜・祝休日、そして春休みと夏休みに当館が一般向けに投影している。なお、一般投影はプログラムを組んで行うオート投影で、録音と原画作製以外は自主製作している。

本当は、実際の星空を見てその美しさを十分に味わってもらいたいのであるが、天候や時間帯など、なかなかそれができないことが多いのが現状である。そこで、少しでも多くの人が（星が好きな

人も、そうでない人も) 気軽に、そして楽しく星空を見てもらうために、季節ごとに話題を変えて投影している。

プラネタリウムの中はいつも快晴で満天の星である。これが実際の星空を見る案内人としての役目を少しでも果たせればと考えている。

そして、最終的には本当の星や星座を自分で探せるように、というのが切なる希望である。

投影番組製作に当たり、外部委託は次のとおりである。

録音及びテープ製作……(株)長野トップ

原画製作……小林徳子

## 2) 投影内容

### (1) 春～夏の番組「星空のマリオ」(リバイバル)

① 投影期間 平成5年4月29日～7月11日

② 内容 この番組は、1987年に投影されたものの再投影である。主人公は、中学生のマリオと小学生のルイジの二人の兄弟である。マリオとルイジは彼らの憧れのパーチ姫が行方不明になったという事を聞き、捜しに行くことになった。今回は、どうも、パーチ姫は星空へとらわれの身になってしまったようだ。二人は、さっそく星空へ出発した。

星空では、キノコガミという変なキノコが二人に星のクイズを出し、正しく答えなければパーチ姫を助け出すことができない仕組みになっていた。そして答えを間違えると鼻をつまんで歌を歌わなければならないという恐怖の罰ゲームが待っていた。さて、二人は、無事パーチ姫を助け出すことができたのだろうか。

③ 声の出演 劇団空素・小山菜緒

④ 投影時間 43分

### (2) 夏の番組「天からのささやき」No.48

① 投影期間 平成5年7月17日～9月5日

② 内容 今から20～30年前、人工衛星というのは珍しい存在であった。夕方や明け方にその姿を見つけたときは大変な興奮を覚えたものであった。そのように珍しかった人工衛星も年々打ち上げられる数が増加し、現在にまでその総数が4,000個を越えている。いまや、珍しいどころか、かえって天体観測にとってじゃまな存在にすらなっている。

とはいっても、現代社会において人工衛星の役割は重要で、なくてはならない存在でもある。人工衛星は、様々な手段で地球の状態を鑑識、地上にいる私たちにそれを教えてくれる。

投影では、地上約36,000km上空で、地球の雲の様子を伝えてくれる静止気象衛星「ひまわり」と上空909kmの極軌道を回っている海洋観測衛星「もも」が人工衛星の役割や地球の真の姿を語る。

③ 声の出演 劇団空素・山極知香

④ 投影時間 43分

### (3) 秋の番組「世にも不思議な星物語」No.49

① 投影期間 平成5年9月11日～11月28日

② 内容 出張で山間地へ出かけた後藤聡一郎氏は、仕事が長びいてしまい、帰るための最終バスが出てしまった。仕方なくその日は村へ泊まらざるをえなくなった。通ったことがある道だったが、しばらく行くと、見慣れない一軒の本屋があった。不思議なことに、その本屋にはギリシャ神話の本しかおいてなかった。

本屋のおばさんに泊めてもらえる宿を聞くと、店を出た正面にあるという。そんな建物はなかつ

たはずだと思い、外に出てみると、果たしてその宿があるではないか。不思議な感じがしたが、とりあえず一晩泊めてもらうために中に入っていった。しかし、そこは宿ではなく、とんでもない別世界だった……………。

③ 声の出演 劇団空素・若林ルイス・荒井良彦・木藤秀久

④ 投影時間 31分

(4) 冬の番組「思い出のプレアデス」No.50

① 投影期間 平成5年12月4日～平成6年2月20日

② 内容 小学校3年生ののんこは、お父さんを迎えにお母さんと一緒にバス停へと向かった。夕焼けがきれいで、夕闇とともに冬の星座たちが輝き始めた。バス停で待っていると、バスがやってきたが、お父さんは残念ながら乗っていなかった。もう1台、次のバスを待つことになり、それまでの間お母さんがのんこに冬の星座の話をした。

10年が過ぎ、のんこも高校を卒業した。冬の星空を見上げると、プレアデス星団が見えている。のんこは、お母さんに小さい頃よく星座の話をしてもらったこと、そして、お母さんがプレアデス星団が好きだったことを思い出した。星は人間と違って、生まれたときにほぼその一生が決まってしまうことなど、星の運命について、のんこは空に向かってお母さんに話をしてあげた。

③ 声の出演 劇団空素・安田昌子・山極知香

④ 投影時間 34分

(5) 春の番組「小惑星からの警告」No.51

① 投影期間 平成6年2月26日～

② 内容 時は20xx年。小惑星を探索しているアマチュア天文家の田辺政彦は、4月1日に自分としては2つ目の小惑星を発見した。祝賀パーティーで、自分で考案した秘密の器械(新しい星をフィルム上ですぐ発見できる)を披露し、今回の発見について語った。そして、にぎやかなうちに屋上にて星座解説が始まった。

屋上で解説を聞きながら、夜の星を見ていると、加藤教授に呼び止められ、自分の発見した小惑星が4年後に地球と衝突するということを知らされる。その小惑星は、大きさが4kmもあり、まともに衝突すると、地球規模の被害が生じ、人類存続の危機にもなるということだ。人類が今まで経験したことがない巨大小惑星との衝突……………その危機から逃れることができるのか?

③ 声の出演 劇団空素・安田昌子・荒井良彦・岡田辰夫

④ 投影時間 43分

### 3) 星空の散歩道

生解説の投影を月1回、原則として最終日曜日の午後3時から行った。 投影時間 50分～60分

月 日	話 題	入場者
4月25日	星の写真を撮ろう	82人
5月30日	皆既月食	115人
6月27日	北極星は変わっていく	93人
7月25日	夏休み天文質問室	72人
8月29日	天王星と海王星	108人
9月26日	はくちょう座オン・ステージ	78人
10月31日	水星の太陽面通過	73人
11月28日	欠けたまま昇ってくる満月	78人
12月26日	アルゴルという星	62人
1月30日	消えた星座	80人
2月27日	危険な小天体	69人
3月27日	星の名前	78人

### 3 移動博物館

#### 1) 教室

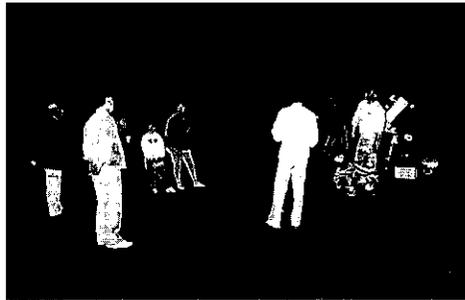
天体観望会

月日	会場	内容
① 5月22日(土)	芋井小中学校	雨天のため中止(芋井公民館と共催)
② 7月23日(金)	小田切グランド	曇天のため中止(小田切公民館と共催)
③ 9月11日(土)	篠ノ井公民館川柳分館	曇天のため分館内でスライド・ビデオ等で星の説明をした。 (30~40人)
④ 10月9日(土)	信田小学校高野分校	実施(45人…信更公民館と共催)
⑤ 11月3日(木)	芋井広瀬運動場	実施(40人…芋井公民館と共催)
⑥ 11月13日	小川天文台他	実施(雨天となり、天文台見学、プラネタリウム、学習会 等を中心に実施した)
~14日		
⑦ 12月4日(土)	茶白山自然史館	曇天のため中止

※ ( ) 内の人数は参加者数



移動天体観望会(芋井)



移動天体観望会(小田切)



移動天体観望会(小川村)

## 2) 展 示

### (1) 「飯綱社古墳出土品展」

- ① 期間 平成5年4月24日～25日
- ② 場所 長野市篠ノ井上石川公民館
- ③ 内容 飯綱社古墳からは鉄刀・鉄剣・馬具・鏡などが出土しているが、鉄製品は劣化が進み、さびてぼろぼろになっていたため、保存修理を行った。これまで布制神社宝蔵庫に納められていたので、地元の人も見る機会がなかった。今回保存修理が終わったところで、初めて公開展示を行った。また常設展示に並んでいる川柳將軍塚古墳出土品もあわせて展示した。



飯綱社古墳出土品展

### (2) 長野市の化石と岩石

- ① 期間 平成5年10月1日～10月7日
- ② 場所 長野東郵便局
- ③ 内容 長野市内で採集された動物や植物の化石・岩石・鉱物などを展示し、長野盆地の生い立ちについて解説した。



市民参加の博物館活動より

### (3) 「市民参加の博物館活動より」

- ① 期間 平成6年1月31日～2月10日
- ② 場所 市役所玄関棟2階市民ギャラリー
- ③ 内容 今年度の体験的な教室を展示という形でまとめ、博物館活動の一端をPRすることを主眼とした。土器や竹製品、歴史見学会、遺跡見学会、民俗見学会、友の会活動のパネルなどを展示した。

### (4) 「ワラ馬展」

- ① 期間 平成6年2月26日(土)・27日(日)
- ② 場所 長野市立芹田公民館
- ③ 内容 博物館に寄贈されたワラ馬を中心に、芹田公民館の成人学校の作品と合わせて展示した。また、ワラ馬を参拝者にくじ引きで分ける桐原牧神社の春祭りの様子も合わせて紹介した。



ワラウマ展

## 4 教育普及

### 1) 教室・講座

#### (1) 天体観望会

- |             |       |                        |
|-------------|-------|------------------------|
| ① 8月17日(火)  | 博物館前庭 | 曇天のためプラネタリウムで実施 (30人)  |
| ② 10月16日(土) | 博物館前庭 | 実施 (40人)               |
| ③ 11月20日(土) | 博物館前庭 | 雨天になり、プラネタリウムで実施 (84人) |
| ④ 3月5日(土)   | 博物館前庭 | 実施 (17人)               |

※ ( ) 内は参加者数

#### (2) プラネタリウムCDコンサート「星空と音楽」

第 33 回 平成 5 年 6 月 26 日 (2 回実施)

1 回目 午後 6 時 30 分～8 時

2 回目 午後 8 時 15 分～9 時 45 分

入場者数 1 回目 117人

2 回目 97人

特 集 ドリームズ・カム・トゥルー

曲 名 1 うれし! たのし! 大好き!

2 笑顔の行方

3 未来予想図

4 星空が映る海

5 L A T. 4 3 ° N

6 アイズ・トゥー・ミー

7 決戦は金曜日

8 あなたにサラダ

9 眼鏡越しの空

10 未来予想図II

第 34 回 平成 5 年 9 月 25 日 午後 6 時 30 分～8 時

入場者数 78人

特 集 オフコース

曲 名 1 心はなれて～愛の中へ～

2 夏の日

3 思いのままに

4 EYES IN THE BACK OF MY HEART

5 ENDLESS NIGHTS

6 YES-YES-YES

7 緑の日々

8 愛を止めないで

9 YES-NO

10 いくつもの星の下で

第 35 回 平成 5 年 12 月 18 日 午後 6 時～7 時 45 分

入場者数 108 人

特 集 クリスマスソング

- 曲 名
- 1 クリスマス・ラブ／サザンオールスターズ
  - 2 おちこぼれの Merry X' mas／山根康広
  - 3 サンク・ゴット・イツ・クリスマス／クイーン
  - 4 ファーストクリスマス イブ／平松愛理
  - 5 ホワイト・クリスマス／ビング・クロスビー
  - 6 ロッジで待つクリスマス／松任谷由実
  - 7 安奈／甲斐バンド
  - 8 クリスマスの夜／岡村孝子
  - 9 クリスマスの思い出／クリフ・リチャード
  - 10 クリスマス・イブ／山下達郎

第 36 回 平成 6 年 3 月 26 日 午後 6 時～7 時 30 分

入場者数 67 人

特 集 70 年代のロック

- 曲 名
- 1 吹けよ風 呼べよ嵐／ピンク・フロイド
  - 2 メタル・グッルー／T・レックス
  - 3 ブラック・マジック・ウーマン／サンタナ
  - 4 移民の歌／レッド・ツェッペリン
  - 5 悲しみのアンジー／ザ・ローリング・ストーンズ
  - 6 ウィザウト・ユー／ニルソン
  - 7 スペース・オディティ／デビッド・ボウイ
  - 8 長い夜／シカゴ
  - 9 チューブラー・ベルズ／マイク・オールドフィールド
  - 10 ハイウェイ・スター／ディープ・パープル
  - 11 青い影／プロコル・ハルム

(3) 化石教室

日 時 平成 5 年 5 月 23 日・30 日 午前 8 時 45 分～午後 4 時

場 所 中条村周辺及び茶臼山自然史館

参加者 20 人

内 容 第 1 日は、現地にて化石の採集や地層の観察を行い、中条村歴史民俗資料館を見学した。第 2 日は、茶臼山自然史館の教室で採集した化石のクリーニングなどを行った。

(4) 鉱物教室

日 時 平成 4 年 8 月 7 日 午前 8 時 45 分～午後 4 時

場 所 上田市・丸子町

参加者 24 人

内 容 上田市・丸子町方面で鉱物の採集や産状の観察を行い、野倉民俗資料館を見学した。

(5) 歴史見学会

開催日 8月1日

見学先 恵林寺・放光寺・大井俣窪八幡神社・甲府善光寺・東光寺・大泉寺・武田氏館跡・信玄堤・武田八幡宮・新府城跡

参加者 39人

内容 山梨県に所在する武田氏関係の旧跡をめぐる。

(6) 歴史講座A～景観から歴史を読む～

① 古代寺院の立地条件

開催日 5月13日・19日

見学先 須坂市左願寺廃寺跡・山千寺（銅造観音菩薩）・善光寺境内・長野市松代町清水寺・更埴市屋代兩宮廃寺跡

参加者 23人

② 中世の墓所

開催日 8月19日・26日

見学先 森將軍塚古墳・恩田民親の墓・花井吉成の墓・善光寺境内ほか

参加者 24人

③ 中世の山城と居館

開催日 11月18日・25日

見学先 武水別神社神宮邸・二ツ柳神社・広田神社・栗田城跡ほか

参加者 37人

(7) 歴史講座B～真田家文書を読む～

日時 1月29日・2月19日・2月26日・3月12日 午後2時～4時

内容 長野県宝の真田家文書のおもだった文書を選び、戦国時代から近世初頭にかけての真田家の動向を読んだ。

参加者 57人

(8) 遺跡見学会

日時 ①5月20日 午前11時～午後4時30分 ④9月17日 午前11時～午後4時

②6月17日 午前11時～午後4時30分 ⑤10月21日 午前11時～午後4時

③8月19日 午前11時～午後4時 ⑥11月18日 午前11時～午後4時30分

会場 博物館・野外

参加者 ①21人 ②19人 ③17人 ④7人 ⑤45人 ⑥21人 ⑦12人

内容 各回ともテーマを設定して見学した。

①長野盆地の生活環境（更埴市屋代遺跡・更埴条里遺跡・大穴遺跡）

②生産遺跡（中野市牛出窯跡・須坂市鎧塚古墳）

③川中島扇状地の遺跡（長野市南宮遺跡・和田東山古墳群）

④和田東山古墳群発掘調査見学

⑤古墳の埋葬施設（坂城町東平古墳・塚田遺跡）

⑥遺跡・遺構の性格（長野市八幡田沖遺跡・南宮遺跡・篠ノ井遺跡）

協 力 長野県埋蔵文化財センター  
長野市埋蔵文化財センター

(9) 土器づくり教室

日 時 ①8月21日 午後2時～4時30分 ⑤10月3日 午前10時～午後4時30分  
②9月4日 午後2時～4時30分 ⑥10月23日 午後2時～4時30分  
③9月5日 午前10時～午後4時30分 ⑦10月24日 午前8時～午後6時  
④9月11日 午後2時～4時30分 ⑧10月30日 午後2時～午後4時

会 場 会議室・野外

参加者 8人

内 容 実際の縄文土器（写真や実測図）を手本にして、忠実に再現することを主眼とした。  
素地づくり→成形→施文→乾燥→野焼きの各工程を行い、各自土器を作ったあとに中  
信方面に土器の見学旅行を行い、更に土器に接する機会をつくった。

(10) 考古学講座

日 時 2月13日・2月27日・3月11日・3月27日 午後2時～4時

会 場 会議室

参加者 37人

内 容 「原始・古代の長野盆地」をテーマに各時代の概要・長野盆地の遺跡・原始古代の祈  
りとまつりなどを4回に分けて話した。

(11) 民俗見学会「長野の石仏めぐり」

日 時 平成5年5月8日 午前9時30分～午後4時30分

見学先 長野市芋井地区

講 師 麻場長男氏

参加者 23人

内 容 芋井地区にはさまざまな石仏が数多くあり、それらを見学してまわった。

(12) “食文化”探訪教室

日 時 平成5年10月3日 午後2時～4時

会 場 博物館会議室

参加者 9人

内 容 長野盆地の伝統食や郷土食、年中行事における食や昆虫食についての話を行った。

(13) 竹細工教室

日 時 平成5年11月6日、20日、12月4日、18日 午前10時～午後3時30分

会 場 博物館会議室

講 師 小出九六生氏

参加者 15人

内 容 身近な竹の素材を使って、竹の割り方やさまざまな竹編みに挑戦し、手伝い・竹の柔  
しさに触れた。

## 2) 講演会

### (1) 特別展「宇宙への挑戦」記念講演会

日時 7月18日 午後2時～4時

会場 会議室

演題 「私の彗星探索」

講師 木内鶴彦氏

聴講者 41人

内容 彗星を4つ独立発見し、そのうち2つの彗星に名前が付いている木内氏の独特の彗星発見法、その理論、その他裏話など興味ある内容であった。

彗星探索は誰にでもできるが、発見できるかどうかは探索法、根気、運がからんでくるという興味ある話をしていた。



講演 木内鶴彦氏

### (2) 特別展「宇宙への挑戦」記念講演会

日時 8月1日 午後2時～4時

会場 会議室

演題 「日本の宇宙科学」

講師 的川泰宣氏（文部省宇宙科学研究所教授）

聴講者 36人

内容 人類のロケット開発の始まりから、兵器としてのV-2号、世界初の人工衛星「スプートニク」や「アポロ」、そして的川氏ご自身が携わった文部省宇宙科学研究所のロケット開発や人工衛星による宇宙の観測などをわかりやすく、ユーモアを交えて話していただいた。



講演 的川泰宣氏

### (3) 歴史講演会

日時 9月23日 午後2時～4時

会場 博物館会議室

講師 青木美智男氏（日本福祉大学経済学部部長）

演題 「一茶の時代」

聴講者 82人

内容 小林一茶を歴史学の視点からとらえてお話していただいた。一茶は、幕末の世情不安のなかで、どのような思想をもっていたのかなど新しい一茶像を提示していただいた。

### 3) 刊 行 物

名 称	発 行 日	規 格	備 考
サンシャインプラネタリウム天体写真 コンテスト入賞作品展・雛人形と 五月人形と新収蔵資料展	4月17日	A 4 二つ折	展示パンフレット
星空のマリオ	4月29日	A 4 二つ折	プラネタリウムパンフレット リバイバル
宇宙への挑戦	7月4日	B 5・73頁	特別展図録
〃	〃	A 4 二つ折	特別展パンフレット
天からのささやき—人工衛星物語—	7月17日	〃	プラネタリウムパンフレットNo.48
大地のおくりもの	〃	B 5・16頁	特別展図録
〃	〃	A 4 二つ折	特別展パンフレット
博物館だより 24号	8月31日	B 5・8頁	
世にも不思議な星物語	9月11日	A 4 二つ折	プラネタリウムパンフレットNo.49
浄土信仰の美	9月19日	B 5・29頁	特別展パンフレット
思い出のプレアデス	12月4日	A 4 二つ折	プラネタリウムパンフレットNo.50
博物館だより 25号	12月15日	B 5・4頁	
〃 26号	2月15日	〃・〃	
〃 27号	〃	〃・8頁	
小惑星からの警告	2月26日	A 4 二つ折	プラネタリウムパンフレットNo.51
紀要 第2号	3月31日	B 5・72頁	
年報 第11号	〃	〃・47頁	
収蔵資料目録 自然4	〃	〃・46頁	
〃 歴史2	〃	〃・51頁	

### 4) 博物館実習

実習 小林 和子 (国士館大学)

丸山かおり (立命館大学)

期間 平成5年7月27日～8月1日 (6日間)

実習日程概要

7月27日	実習計画・施設見学・機構・沿革・ 民俗資料の取扱いと整理	の制作
7月28日	民俗資料の整理・自然資料の収集と 整理	7月31日 考古資料の取扱いと整理・資料の写 真撮影
7月29日	資料の受入と収蔵管理・歴史資料の 取扱いと整理	8月1日 他施設見学実習・講演会準備・聴講・ かたづけ
7月30日	天文の収集と整理・プラネタリウム	

## 5) 友の会

### (1) 友の会の発足

開館以来10余年が経過したが、友の会が組織されてこなかった。

平成5年6月1日、それまで博物館の同好会であった古文書同好会とドキドキクラブを中心として、友の会を発足させた。

事務局は博物館職員が対応することとし、会長副会長等は会員のなかから選出する方法をとった。平成5年5月30日、発会式とともに平成5年度の総会を開催した。主な議題は次の通り。

- ①役員選出
- ②友の会規約の承認
- ③平成5年度事業案について
- ④平成5年度予算案について

### (2) 趣旨

友の会発足の趣旨(目的)は、博物館を媒介として会員の教養と相互の親睦を深めることを目的としている。そして、博物館活動をも見据えて、より円滑な博物館運営ができることもひとつの目的である。

従来、博物館では多くの事業を展開してきた。こうした事業を行ううちに博物館に足しげく通う人々が多くなってきた。こうした人々の受皿的なものは当館にはまったく存在していなかった。そのため、こうした博物館活動に積極的に参加して頂ける人々のパイプ役としての機能も備えた。友の会の発足に対して難関であったのが、関係機関の理解である。現在、博物館では入館料を徴収することが原則となっている。そのため、友の会会員には入館料の免除をうたったが、友の会会員の入館料免除の根拠についての折衝が障害となった。

現在、関係機関のご協力のもと、入館料の免除が公認されるようになり、会員は何度も博物館を訪れるようになっている。こうした意味で、博物館と市民とのパイプ役としての重要性がはっきりと現れている。

### (3) 会員数

#### ①前期会員(6月1日～11月30日に入会)

家族会員	238家族
一般会員	88人
高校生会員	3人
小中学生会員	10人

#### ②後期会員(12月1日～5月31日)

家族会員	58家族
一般会員	24人
高校生会員	0人
小中学生会員	1人

#### ③賛助会員 3口

### (4) 事業

#### I 見学旅行

##### ① 原始古代の歴史の舞台をたずねて

開催日 平成5年9月9日

参加者 37人

見学先 北相木村・川上村・南牧村・大泉村地方の遺跡めぐり

② 木曾路をたずねる

開催日 平成5年9月26日

参加者 28人

見学先 妻籠・馬籠などの木曾の宿場めぐり

③ 大鹿歌舞伎を見にいこう

開催日 平成5年10月17日

参加者 31人

見学先 伊那谷の大鹿歌舞伎の見学会

④ 秋の奈良路と正倉院展

開催日 平成5年11月5日～7日（2泊3日）

参加者 76人

見学先 奈良国立博物館「正倉院展」、醍醐寺、平等院、興福寺など

⑤ 弥彦神社の初詣と寺泊の旅

開催日 平成6年1月9日

参加者 43人

見学先 弥彦神社、良寛記念館、寺泊漁港ほか

⑥ 山形会津の史跡と温泉の旅

開催日 平成6年5月14日～16日（2泊3日）

参加者 55人

見学先 米沢の上杉氏関係史跡（御廟所、法音寺、上杉神社）、立石寺、会津鶴ヶ城ほか

## II 観察会

① 自然観察会

開催日 平成5年8月29日、11月7日、平成6年1月9日、4月17日（計4回）

参加者 70人（累計）

② 薬草植物観察会

開催日 平成5年7月13日、9月8日、平成6年3月12日、4月29日（計4回）

参加者 75人（累計）

## III 通信添削講座

古文書講座 参加者 15人

## IV 博物館まつり

開催日 平成5年9月23日

行事内容 宇宙グッズの販売、古代食の試食ほか

## (5) 規約

(名称)

第1条 この会は、長野市立博物館友の会（以下「友の会」）といい、事務局を長野市立博物館内に置く。

(目的)

第2条 「友の会」は、博物館を通して、会員の教育と相互の親睦を深め、博物館活動に参加することによって、市民文化の向上をはかることを目的とする。

(事業)

第3条 「友の会」は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 講演会、講習会、見学会などの開催。
2. 同好会などのグループによる調査研究。
3. 会報の発行。
4. 博物館の諸事業に対する協力。
5. その他、この会の目的を達成するために必要な事業。

(特典)

第4条 「友の会」の会員は、次の特典を受けることができる。

1. 博物館および分館茶臼山自然史館の常設・特別展示、プラネタリウムの無料見学。
2. 博物館友の会が主催する行事への参加。
3. 博物館だより・行事案内の配布。
4. 友の会だよりなど、友の会発行の印刷物の配布。
5. その他必要な事柄についての通知を受けることができる。

(会員及び会費)

第5条 「友の会」は、その目的に賛同し、その活動に協力するものをもって構成する。会費は次の通りとする。

1. 普通会员

一般 1,500円

高校生 800円

小中学生 500円

2. 家族会員

1家族(同居家族で人数は定めない) 2,000円

3. 「友の会」の入会が12月より翌年5月までの場合は、普通会员・家族会員の会費は半額とする。

(特別賛助会員)

第6条 この会の趣旨に賛同した法人または個人で、年額10,000円以上の寄附者を特別賛助会員とする。

(役員)

第7条 「友の会」には、次の役員をおく。

1. 会長1名(会務を総理し、会を代表する。)
2. 副会長2名(会長を補佐し、必要ある時は会長を代行する。)
3. 運営委員若干名(会長・副会長とともに運営委員会を構成し、会務を処理する。)
4. 監事2名(会の業務、会計を監査する。)
5. その他必要に応じて顧問をおく。
6. 役員は総会において会員の中から選出し、任期を2年とする。再任をさまたげない。ただし、任期途中において欠員が生じた場合、会長は後任者を選任し、前任者の残任期間とする。

(総会)

第8条 総会は年1回、会長が召集し、事業計画、予算、決算、役員の選出その他重要事項を協議決定する。

(運営委員会)

第9条 運営委員会は必要あるごとに会長が召集し、会務について協議、処理する。

(事務局)

第10条 事務局に書記・会計をおき、この会の事務を処理する。

(会計)

第11条 「友の会」の会計は、会費・寄付金その他の収入をもってあてる。  
会計年度は、6月1日より翌年5月31日までとする。

付 則

この規約は、平成5年6月1日から施行する。

## 6 調査研究・収集整理

### 1) 天文部門

#### ◆太陽黒点の観測 (1993年)

当館では、1981年7月より太陽黒点の観測を行っている。太陽黒点の増減は、太陽活動と密接な関係があり継続して見守っていくことは重要である。1990年は第22活動期の極大を少し過ぎたあたりであるが、まだまだ活動が活発で目が離せない。

当館での観測方法は次の通りである。

投影法によるスケッチ……投影像は直径25cm

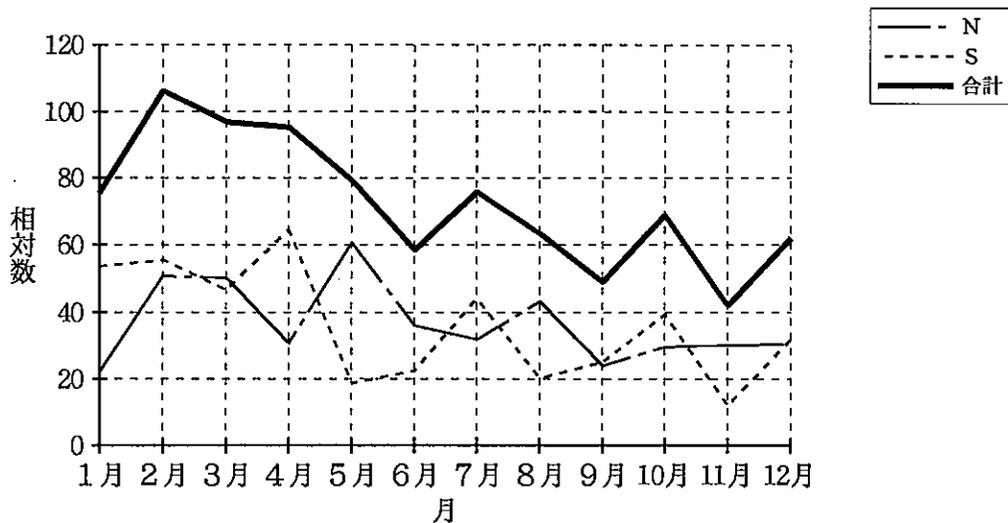
使用望遠鏡……15cm屈折望遠鏡 (F15) 接眼レンズ K40mm

1993年 太陽黒点相対数 年間観測日数175日

(- 観測なし)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1	62	28	-	-	29	148	-	-	47	100	-	87	1
2	-	41	77	104	-	-	-	59	34	-	14	81	2
3	62	85	90	81	-	-	-	-	-	-	22	-	3
4	-	86	147	87	85	-	-	44	-	138	20	74	4
5	99	122	207	106	-	-	-	-	29	-	21	-	5
6	-	121	145	131	-	-	-	63	-	-	30	-	6
7	-	-	108	99	101	115	70	-	-	-	-	-	7
8	128	-	80	85	127	-	-	-	-	-	-	97	8
9	-	155	-	130	-	-	64	-	-	102	29	96	9
10	-	-	-	136	-	-	43	-	-	-	28	-	10
11	129	71	-	-	158	-	53	-	-	-	-	-	11
12	124	-	-	-	160	22	-	89	-	74	0	27	12
13	102	101	-	-	-	-	-	89	-	-	-	-	13
14	-	114	-	-	-	23	-	-	-	34	-	-	14
15	-	100	-	17	63	-	-	-	-	38	29	-	15
16	-	154	-	30	68	24	84	-	49	66	51	26	16
17	-	-	76	62	-	37	-	-	-	-	62	36	17
18	80	115	97	-	22	-	-	-	-	-	53	-	18
19	-	110	-	71	-	-	-	-	-	-	60	34	19
20	88	-	97	118	-	24	-	-	36	82	-	-	20
21	61	-	107	162	35	34	-	-	-	115	-	-	21
22	-	-	111	-	-	32	84	-	-	78	91	-	22
23	48	-	82	117	12	-	87	-	-	80	52	39	23
24	-	124	53	-	33	68	-	-	-	-	-	-	24
25	-	121	68	118	46	-	92	91	75	44	46	-	25
26	74	136	51	71	-	-	91	-	73	79	56	78	26
27	34	129	78	87	51	116	-	-	-	58	45	-	27
28	-	-	-	-	109	-	-	-	-	27	-	-	28
29	39	/	-	-	143	-	92	74	-	23	68	70	29
30	39	/	82	-	-	-	-	-	-	-	64	-	30
31	40	/	85	/	107	/	-	62	/	34	/	-	31
平均	75.6	106.3	96.9	95.4	79.4	58.5	76.0	63.4	49.0	68.9	42.1	62.1	平均
日数	16	18	19	19	17	11	10	9	7	17	20	12	日数

1993年黒点相対数の推移



◆光害調査

夜間に人工的な光は、人々の生活にかかせないものになっているが、その光も過剰になると様々なところで悪影響を及ぼすようになる。長野市立博物館で行っている天体観望会でも夜間照明の影響を大きく受け、次第に星が見えにくくなってきている。そんな夜空の状況を客観的に調査し、夜空の明るさの監視をしていくものである。

調査主体 長野市立博物館、しなの星空散歩会きらきらの共催

【役割分担】

長野市立博物館

- ◎フィルム、調査票、現像等消耗品類の提供
- ◎デンストメーター、データ整理場所の提供
- ◎撮影機材の貸し出し

しなの星空散歩会きらきら

- ◎星の撮影による夜間調査
- ◎データ整理

実施期間 平成5年5月11日～5月23日

(期間中のよく晴れた日)

実施時間 午後9時～10時

目標星 うしかい座のアルクトゥルスをカメラ写野の中心にいれる。

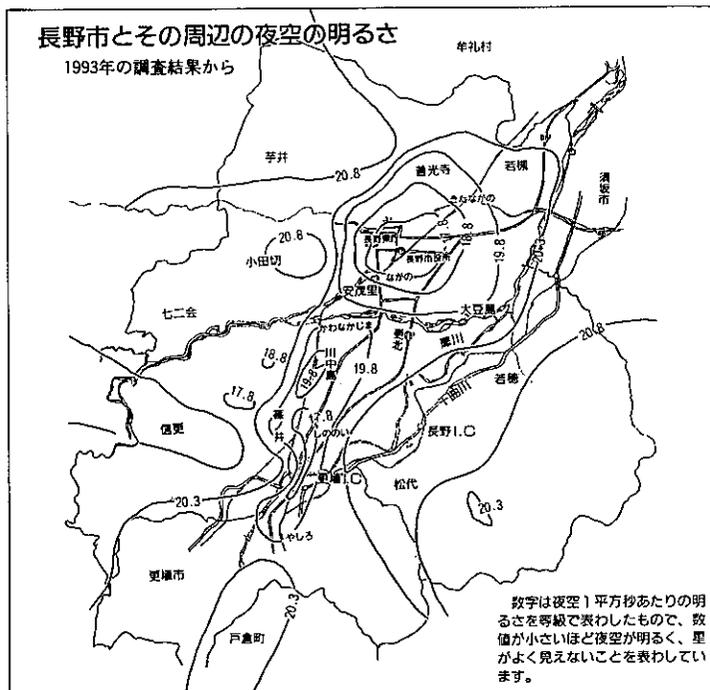
方法 ①レンズ 焦点距離50mm(または55mm)の標準レンズ  
(ただし、絞りの開放値が2.0より小さいもの)

②露出時間 80秒

※撮影した日のうち1カ所は300秒、150秒、80秒の3回露出をする。

③絞り F4

④フィルム フジクローム400D(プロビア)



## 2) 地質部門

平成6年1月31日現在における地学資料のうち、変成岩及び鉱物について、長野市立博物館収蔵資料目録自然4を3月末に刊行した。

## 3) 歴史部門

当館の調査研究の柱である善光寺を中心とする信仰を解明する調査を毎年行っている。

本年は浄土信仰に関連した資料の所在調査を主に行った。その成果は、特別展示として発表した。

なお、博物館における調査研究とはいかなるものか。たしかに特別展の準備として調査研究は重要ではある。ただ、近年における学芸員論、博物館論では、もっと大きな意味での調査研究を期待しているように思われる。ただ、現状では、大学の研究機関と同じような調査をすることは不可能であり、まして、自分の研究を勤務中にすることははばかれることである。こうした博物館における調査研究はどうあるべきなのかをある程度指標を示すこと自体が今後の重要な問題となるのではなからうか。ただ、調査研究が勤務中にできないという現状もあり、そうした意味でも、博物館における調査研究の比重の低さが現われている。

## 4) 民俗部門

調査研究に関しては、昭和63年の調査を引き継ぎ長野市篠ノ井有旅犬石地区の生活や伝承について調査した。今年度は主に信仰習俗や年中行事について聞き取り調査をした。なお、この成果については、「長野市民俗文化財調査報告書1 犬石の民俗」としてまとめる予定。

調査者 青木茂子・荒井真紀・近藤智恵子・前村邦彦・町田みよ志・山下裕子

また、第34回特別展の基礎調査として、長野市内およびその周辺の道祖神祭りについて調査および資料収集を行った。

資料の収集整理に関しては、民俗資料の分野別整理を合わせて、資料の写真撮影を行った。

## 5) 研究紀要

平成6年3月31日 『長野市立博物館紀要』第2号（B版 72頁）刊行

大蔵 満：「長野市の夜空の明るさに関する考察」

原田和彦：「千曲川流域における古代寺院」

和田 博：「山王居館跡考」

牛山佳幸：「信濃清滝寺と加賀温泉寺」

### III 博物館収蔵資料

#### 1 購入資料

##### 1) 図書

書名	発行所
十日町市史 資料1	十日町市役所
〃 〃 3	〃
〃 〃 4	〃
世界の国ぐに大百科	ぎょうせい
十日町市史 資料編5 近世二	十日町市役所
十日町の昔ばなし	〃
国史大辞典 14 やーわ	吉川弘文館
幕末御触書集成 第三巻	岩波書店
積石塚の郷 上八町区誌	上八町区誌編纂委員会
芋井の年中行事	芋井公民館
塩尻市誌 第4巻	塩尻市誌編纂委員会
飯山市誌 (歴史編上)	飯山市誌編纂委員会
古文化談叢第30集 上	九州古文化研究会
〃 中	〃
〃 下	〃
図説 群馬県の歴史	河出書房新社
〃 石川県の歴史	〃
〃 山梨県の歴史	〃
村に根づいた人々	木曾榎川村誌
佐久市志 (歴史編二)	佐久市志編纂委員会
図説 手織機の研究	京都書院
THE DEEP SKY	誠文堂新光社
パソコン天文ライフ入門	天文ガイド編誠文堂新光社
メシエ 天文ガイド	スキ出版局
十日町市史 資料編6	十日町市史編纂委員会
二十一世紀への考古学	雄山閣出版
松本市史 第4巻	松本市編集発行
幕末御触書集成 第4巻	岩波書店
日本の博物館事情	日本博物館協会
美術工芸品の保存と保管	フジ・テクノシステム
日本地質アトラス (第2版)	朝倉書店
原色牧野植物大図鑑	北隆館
原色牧野植物大図鑑 続編	〃

##### 2) 歴史資料

馬場家文書 (長野市松代町) 一括  
 往昔松代図 (江戸時代初期) 1点

## 2 寄贈資料

### 1) 図書

書名	寄贈者
せたがやの文化財	世田谷区教育委員会
世田谷区近代火災史年表	〃
世田谷の社寺写真集	〃
世田谷区文化財調査報告集-1-	〃
宇奈根	〃
喜多見陣屋遺跡II	〃
研究紀要7	和歌山市立博物館
和歌山市立博物館館報	〃
小田原市郷土文化館研究報告	小田原市郷土文化館
江戸東京博物館案内	東京都江戸東京博物館
某コレクション売立 日本染織品図録	文長堂
駒方津室迫遺跡の構造論的研究	別府大学付属博物館
湯之奥金山遺跡の研究	湯之奥金山遺跡学術調査会
府中市郷土の森年報第6号	府中文化振興財団
満船飾の神戸	神戸海洋博物館
研究紀要第8号	八戸市博物館
縄文土器	調布市郷土博物館
愛媛の自然	愛媛県立博物館
身のまわりの自然 昆虫編	〃
国立歴史民俗博物館要覧 1987	国立歴史民俗博物館
柴崎村間遺跡	高崎市遺跡調査会
上並榎屋敷前遺跡	〃
稻荷町I遺跡	〃
高崎市文化財調査報告書 第91集 八幡遺跡	〃
〃 109集 高崎市内遺跡緊急埋蔵文化財発掘調査報告	〃
〃 111集 山名原口II遺跡	〃
〃 116集 高関堰村遺跡	〃
〃 117集 石原鶴辺団地I遺跡	〃
〃 118集 西浦・隼人・吹手西遺跡	〃
〃 119集 上中居早道場遺跡	〃
〃 120集 高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	〃
土浦市立博物館紀要 第4号	〃
〃 年報 第5号	〃
調布市上布田遺跡	調布市教育委員会
調布市上ヶ給遺跡	〃
埋蔵文化財年報-平成元年度-	〃
〃 -平成2年度-	〃
落越遺跡I	落越遺跡調査檀
〃 II	〃
研究紀要-10-	群馬県埋蔵文化財調査事業団
プラネタリアム-教育者たちの挑戦-	日本プラネタリアム協会
葛飾区郷土の森と天文の博物館施設概要	葛飾区郷土と天文の博物館
プラネタリアム指導資料集No.4	(財)中野区文化・スポーツ振興公社
長井真隆・吉沢庄作 植物コレクション	富山市科学文化センター
著作権テキスト 平成4年度	長野県博物館協会
松山篤翁評伝	松山篤翁評伝編纂委員会
松山市立子規記念博物館年報11	松山市立子規記念博物館
研究集録 第29号	小樽市青少年科学技術館
仙台藩の絵画	仙台市博物館

書名	寄贈者
豊島の集団学童疎開資料集(4) 研究調査報告書 第20集 所蔵日本画選 研究紀要 第3号 雪国十日町の暮らしと民具 日本地震史料 続補遺 恐竜化石学術調査報告書 真壁町の石造物-寺社編- 庭に来る鳥-その鳴き声と姿- 昔なつかし薫づくし-くらしの中のワラー 福井市自然史博物館研究報告 第39号 茨城県立歴史館報 20 山形県立博物館報 野尻湖博物館研究報告 第1号 各務原市資料調査報告書第16号 富樫庶流旗本坪内家-統系図並由緒(-) 北海道立北方民族博物館総合案内 豊橋市自然史博物館資料集 " 研究報告 山北町民俗論集 第3集 国立歴史民俗博物館研究報告 第50集 자연인 이야기 自然と人と動物たち 理工展示解説書 明治大学学芸員養成課程 紀要 4 " 年報 8 天上へ向かうかたち-さまざまな塔- 千葉県立 房総のむら 西相模の古墳 古文書近世史料目録 第15号 大隅遺跡 国東地区遺跡群発掘調査概要Ⅲ 浜崎寺山遺跡 行入地域の民俗 石川日記(十五) 八王子市郷土資料館年報 1991 八王子の歴史と文化 第5号 考古学における計量分析-計量考古学への道(Ⅰ)- 第16回考古学におけるパーソナルコンピュータ利用の現状 筑波大学先史学・考古学研究 第4号 研究紀要 30 北網圏北見文化センター年報 南町遺跡 Ⅳ 淡河萩原遺跡発掘調査報告書(Ⅰ) " (Ⅱ) 淡河中山遺跡発掘調査報告書Ⅰ 古代・地方の役所 岡遺跡と郡衙 江戸の看板 文字のメッセージ 根室市博物館開設準備室紀要 いちはらの文化財 平成4年度市原市内遺跡発掘調査報告 市原市内仏像彫刻所在調査報告書-南部編- 市内遺跡Ⅴ 絵図でみる城下町よねざわ 石神 宮崎県総合博物館年報	豊島区立郷土資料館 浦和市立郷土博物館 飯田市美術博物館 " 十日町博物館 東京大学地震研究所 岐阜県恐竜化石学術調査推進委員会 真壁町歴史民俗資料館 我孫子市鳥の博物館 千葉県立上総博物館 福井市自然史博物館 茨城県立歴史館 山形県立博物館 信濃町立野尻湖博物館 各務原市歴史民俗資料館 北海道立北方民族博物館 豊橋市自然史博物館 " 山北町教育委員会 国立歴史民俗博物館 Kwangju National Museum Hansin University Museum 富山市ファミリーパーク 富山市科学文化センター 明治大学学芸員養成課程 " 埼玉県立歴史資料館 千葉県立房総のむら 桜土手古墳展示館 山形大学附属博物館 国東町教育委員会 " " " 八王子市教育委員会 八王子市郷土資料館 " 帝塚山考古学研究所 " 筑波大学歴史・人文学系 小松市立博物館 北網圏文化センター 北海道北見市教育委員会 淡神文化財協会 萩原遺跡調査団 " " 栗東歴史民俗博物館 " 根室市博物館開設準備室 市原市教育委員会 " " 群馬県渋川市教育委員会 米沢市立上杉博物館 小諸市教育委員会 宮崎県総合博物館

書名	寄贈者
科学技術の19世紀	石川県立歴史博物館
歴博58	国立歴史民俗博物館
水辺環境 第10号	長野県水辺環境保全研究会
すぎ百科展	杉並区郷土博物館
吾妻の考古展	〃
東北歴史資料館年報	東北歴史資料館
織りの流れを探る	一宮市博物館
埋蔵文化財出土品展	〃
漢詩人・森春濤の遺墨	〃
諸職の道具	市川歴史博物館
市立市川歴史博物館年報	〃
ひながた・衣のミニチュア	土浦市立博物館
湖と海の王	安土城考古博物館
学芸員課程報告 第4号	武蔵大学
紀要 第3号〈自然部門〉	茅野市八ヶ岳総合博物館
感傷と慰藉ーセンチメンタル・ジュエリー	真珠博物館
輝きの世紀 御木本真珠発明100周年記念	御木本真珠発明100周年 史合同編集委員会
窪畑遺跡	長野県辰野町教育委員会
金工・美濃彫	岐阜市歴史博物館
山本秀陽書道展	富士市立博物館
富士市立博物館年報 第7号	〃
上ノ山遺跡	伊那市教育委員会
'92要覧	北海道海拓記念館
湯之奥金山遺跡の研究	湯之奥金山遺跡学術調査会
柴崎遺跡群 西浦・吹手西遺跡	高崎市教育委員会
津山松平藩町奉行日記二	津山郷土博物館
田名の獅子舞	相模原市教育委員会
古山の集落と土地利用	〃
研究報告 第2集	〃
国分境Ⅲ遺跡	群馬県群馬町教育委員会
町内遺跡Ⅰ	〃
石神	小諸市教育委員会
戦時下の市制施行と市民	佐野市郷土博物館
佐野市郷土博物館年報 平成3年度	〃
長岡市内遺跡発掘調査報告書	長岡市教育委員会
梶海渡遺跡	豊科町教育委員会
平成4年度松戸市内遺跡発掘調査概報	松戸市教育委員会
帝京大学山梨文化財研究所研究報告 第4集	帝京大学山梨文化財研究所
王朝文化の美 平安京	斎宮歴史博物館
我孫子市鳥の博物館報第2号	我孫子市鳥の博物館
〃 調査研究報告 第2巻	〃
木瀬川大古田家・中石田秋元家文書目録	沼津市明治資料館
ぬまづ江戸時代図誌	〃
紫金山古墳と石山古墳	京都大学文学部博物館
箱根町立郷土資料館館報 第9号	箱根町立郷土資料館
毛利コレクション所蔵和漢書目録	石巻文化センター
古墳ガイドブック	大田区立郷土博物館
海苔物語	〃
セーラムの歴史	〃
紀要 第3号	〃
マオリ文化展	苦小牧市博物館
研究紀要 第16号	静岡県博物館協会
平成3年度陵墓関係調査概要書陵部所蔵の石製品Ⅲ	陵墓課
岩手の庚申塔	岩手県立博物館
北上市和賀町愛宕山遺跡発掘調査報告書	〃

書名	寄贈者
年報	〃
岩手民間信仰事典	〃
鉄の歴史と文化	〃
瑞浪市化石博物館研究報告 第19号	瑞浪市化石博物館
研究紀要 第16巻	名古屋博物館
常設展示図録	上福岡市立歴史民俗資料館
一明治・大正・昭和一写真が語る上福岡	〃
「あかり」	〃
ほうきの文化一序章一	〃
松本市二反田遺跡・松本市岡田町遺跡	松本市教育委員会
松本市山影遺跡	〃
植原北・中山古屋敷・推定信濃諸牧牧監庁跡Ⅱ 小丸山古墳	〃
松本市針塚遺跡Ⅱ	〃
古屋敷遺跡・前田遺跡	〃
松本市高綱中学校遺跡Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	〃
弘法山古墳出土遺物の再整理	〃
聖徳太子像の造形	安城市歴史博物館
妙見信仰調査報告書(一)	千葉県立郷土博物館
山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館常設展示ガイド	山形県立うきたむ風土記の丘 考古資料館
浮世絵に見る曾我物語展	小田原市郷土文化館
城州一心構とオンマカブロー村のくらしと風呂一	京都府立山城郷土資料館
宮座とまつり	〃
山城郷土資料館報 第10号	〃
京都の歴史 山城編	京都府教育委員会
ふるさとの語り部集 近代の暮らしと食Ⅰ	豊田市教育委員会
博物館学紀要 第17輯	国学院大学博物館学研究室
府中郷土の森紀要 第6号	府中市教育委員会
唐ノ浜層群の貝化石	佐川地質館
ハケの自然とくらし一鏗山英次写真展一	府中市教育委員会
影浦谷古墳	松山市教育委員会
国学院大学考古学資料館紀要	国学院大学考古学資料館
天保水滸伝の世界	千葉県立大利根博物館
水崎遺跡	水崎遺跡発掘調査団
裏宿遺跡群Ⅰ	八王子市裏宿遺跡発掘調査団
中央大学多摩校地遺跡	中央大学多摩校地遺跡発掘調査団
東京大学文学部考古学研究室研究紀要	東京大学文学部考古学研究室
恵那市史第三巻(一)補遺	恵那市史編さん室
鳥取県立博物館研究報告 第30号	鳥取県立博物館
郷土と博物館 75	〃
〃 76	〃
自然教育園報告 第24号	国立科学博物館附属自然教育園
設問板の手引き	〃
F15藤岡平地区遺跡群Ⅲ	群馬県藤岡市教育委員会
市内遺跡Ⅰ	〃
千曲川の今昔	建設省北陸地方建設省千曲川工事事務所
国立歴史民俗博物館研究報告 第48・49集	国立歴史民俗博物館
秋田県立博物館研究報告 第18号	秋田県立博物館
平成4年度 館報	〃
大阪市立博物館報 №32	大阪市立博物館
歴史の道調査報告	長野県教育委員会
奈良絵本	粟東歴史民俗博物館
年報 平成2・3年度	〃
平塚・平野の地形	平塚市博物館
平塚市博物館年報 №16	〃
〃 所蔵地質資料目録Ⅰ	〃

書名	寄贈者
平塚市博物館研究報告、自然と文化 №16	〃
相模川流域の自然と文化	平塚市博物館
描かれた近江	栗東歴史民俗博物館
第二章文献小山町史第一巻古代中世資料編抜刷	池上裕子
第三章系図	〃
写真で見る国土(№1～№4)	曾根原方教
榎垣外・海戸遺跡・地獄沢発掘調査報告書	岡谷市教育委員会
上荒屋遺跡(二)	金沢市教育委員会
金沢市馬替遺跡	〃
金沢市埋蔵文化財調査年報	〃
物見処遺跡 1992	国学院大学文学部考古学研究室
柳又遺跡 A地点	〃
江島サッパの造船工程	石巻文化センター
年報 平成3年度	広島県立歴史民俗資料館
ひろしまの青銅器	〃
新池	高槻市教育委員会
史跡松代藩主真田家墓所	長野市教育委員会
古照遺跡	松山市教育委員会
小山の遺跡2	小山市立博物館
高浜貝層	福井市自然史博物館
松戸市立博物館要覧	松戸市立博物館
松戸写真館	〃
郷土の絵馬	日本民俗資料館 松本市立博物館
松本の三九郎	〃
世界の古時計	〃
松本の押絵雛	〃
資料目録-民俗編その1-	〃
農耕用具コレクション展	〃
松本城の歴史	〃
まちなかウォッチング松本ってどんなまちQ&A	〃
松本市立博物館総合案内	〃
市立函館博物館研究紀要 第3号	市立函館博物館
奈良市埋蔵文化財調査センター紀要	奈良市教育委員会
平城京東市跡推定地の調査XI	〃
奈良市埋蔵文化財調査概要報告書	〃
西隆寺発掘調査報告書	奈良市
長野県信濃美術館美術調査	長野県信濃美術館
長崎市立博物館報 第33号	長崎市立博物館
長崎市立博物館資料図録II	〃
尼崎城跡I	尼崎市教育委員会
歌 暦	岐阜市歴史博物館
重 星 観測のしくみ	清水克紀
研究紀要 2号	豊橋市美術博物館
豊橋市民俗資料収蔵室目録	豊橋市教育委員会
秦野の文化財 第28集	秦野市教育委員会
〃 第29集	〃
埼玉県立自然史博物館研究報告 第11号	埼玉県立自然史博物館
埼玉県立自然史博物館報 第6号	〃
岩石(1)	〃
種子植物(1)岩田コレクションI	〃
須 沼	大町市教育委員会
国立歴史民俗博物館研究紀報告第47集	国立歴史民俗博物館
小牧イヨ谷遺跡 第7集	鞍手町教育委員会
徳島城博物館展示案内	徳島市立徳島城博物館
笠懸町内遺跡I	笠懸町教育委員会

書名	寄贈者
成塚住宅団地遺跡	太田市教育委員会
今井白山遺跡	群馬県教育委員会
下川田下原・下川田平井遺跡	〃
竹内街道歴史資料館	太子町教育委員会
和傘づくり	広島市教育委員会
広島の研究 砥石工業の歴史と技術	〃
大阪市立科学館研究報告	大阪市立科学館
大阪市立自然史博物館館報	大阪市立自然史博物館
愛媛の自然 第1号～6号	愛媛自然科学教室
静物のある風景	石巻文化センター
神奈川県立博物館研究報告第19号	神奈川県立博物館
チャールズ・ワーグマン作品目録	〃
彦根城博物館年報 平成元年・2年度	彦根城博物館
〃 平成3年度	〃
研究紀要 第4号	〃
極楽寺の歴史と美術	〃
丹保遺跡	上郷町教育委員会
長野大学紀要	長野大学
飯田美術博物館年報	飯田美術博物館
歴博59	国立歴史民俗博物館
研究報告14	岡山県立博物館
統計でみる長野県のすがた	長野県統計協会
ながの県勢要覧	〃
TOBA SUPER AQUARIUM	鳥羽水族館
伊勢並遺跡	伊那市教育委員会
雪野山古墳Ⅲ	大阪大学考古学研究室
但馬豊岡城	豊岡市立郷土資料館
瑞浪陶磁資料館研究紀要 第4号	瑞浪陶磁資料館
〃 年報 第12号	〃
船橋のあゆみ	船橋市郷土資料館
板橋区立郷土資料館 年報	板橋区立郷土資料館
榎垣外・海戸遺跡・地獄沢発掘調査報告書	岡谷市教育委員会
船橋市郷土資料館年報	船橋市郷土資料館
船橋周辺の講	〃
すまいとくらしの文化史	〃
資料観覧のてびき	〃
MUSEUMS IN NAGANO PREFECTURE	長野県教育委員会
赤松町遺跡発掘調査報告書	赤松町遺跡調査団
伊豆加増野の生活と伝承	武蔵大学人文学部
四ヶの生活と伝承	〃
赤城山麓柏山の生活と伝承	〃
葛城の生活と伝承	〃
石下町小保川・崎房の生活と伝承	〃
宇陀本郷の生活と伝承	〃
湖北物部の生活と伝承	〃
南房総白間津の生活と伝承	〃
西会津大久保・中野の生活と伝承	〃
湖南安治の生活と伝承	〃
外房総大沢の 〃	〃
秩父郡阿神村の 〃	〃
三郷市花和田の 〃	〃
神奈川県立博物館年報	神奈川県立博物館
氷見バイパス関連遺跡調査報告Ⅱ	氷見市教育委員会
氷見市遺跡地図 第2版	〃
平塚遺跡	八王子平塚遺跡発掘調査団

書名	寄贈者
古曾部遺跡発掘調査概要	高槻市教育委員会
塚穴古墳群	"
鳴上遺跡群 17	"
高槻市文化財年報	"
弁天山古墳群	"
塚脇 "	"
嶋山郡衛跡	"
上田部遺跡	"
山口県立山口博物館研究報告 第19号	山口県立山口博物館
館報 16	"
山口県其自然	"
白井遺跡群一中世編一	群馬県埋蔵文化財調査事業団
岐阜県博物館調査研究報告	岐阜県博物館
" 館報 第16号	"
土と炎の芸術	"
亮昌寺資料目録	アイヌ民族博物館
アイヌと植物	"
沼津市博物館紀要	沼津市歴史民族資料館 沼津市明治史料館
土別市立博物館報告 11号	土別市博物館
仙台市科学館年報 25号	仙台市科学館
仙台市科学館研究報告	"
北海道立北方民族博物館研究紀要	北海道立北方民族博物館
アラスカ半島の先史文化	"
世田谷区史料叢書 第八巻	世田谷区立郷土資料館
宮遺跡	県内上水内郡中条村教育委員会
浴・長池遺跡(第1冊)	高松市教育委員会建設省四国地方建設局
高松市内埋蔵文化財試掘調査概報	高松市教育委員会
弘福寺額讚岐国山田郡田原比定地域発掘調査概要	高松市教育委員会
岐阜市歴史博物館年報 No.7	岐阜市歴史博物館
大宮市立博物館研究紀要 第5号	大宮市立博物館
市立市川考古博物館年報	市立市川考古博物館20号
よみがえる古代	柏原市歴史資料館
柏原市歴史資料館報 第4号	"
東洋古陶磁と招来茶陶展	柏原市教育委員会
比企岩殿観音とその門前町	埼玉県立博物館
埼玉県立博物館館有資料目録Ⅸ	"
埼玉県立博物館紀要-18	"
KAWASAKI CITY MUSEUM 1992 第5集	川崎市市民ミュージアム
岩本遺跡(第342集)	福岡市教育委員会
香椎A	"
立花寺	"
吉塚本町遺跡 1	"
那珂遺跡 8	"
飯倉C遺跡 2	"
千隈遺跡	"
有田・小田部	"
比恵遺跡群(2)	"
野多目拈渡遺跡 4	福岡教育委員会
雀居遺跡 1	"
福岡市埋蔵文化財年報	"
熊本遺跡群 1	"
脇山 V	"
入部 IV	"
拾六町平田遺跡 2	"
有田・小田部 第17集	"

書名	寄贈者
飯氏遺跡群 1	〃
野方久保遺跡	〃
古市遺跡群 XIV	羽曳野教育委員会
峯ヶ塚古墳 (概報)	〃
市立市川考古博物館年報	市立市川考古博物館
博物館要覧 平成5年度	富山市立博物館
おもちゃ文化史	〃
笹倉家文書目録	富山市郷土博物館
牛ヶ首用水文書目録	〃
ECOMUSEUM	丹青総合研究所
荒池北古窯 (NN335窯)	名古屋市教育委員会
檜山地区試掘調査報告	羽曳野市遺跡調査会
大宮の教育史調査概要 (教科書関係資料目録)	大宮市立博物館
見晴台遺跡	見晴台考古資料館
菩薩遺跡	名古屋市教育委員会
正木町遺跡	〃
年報 9	見晴台考古博物館
見晴台教室 '92	〃
朱雀	京都文化博物館
壬生寺展	〃
環境と生物～生きる～	富山市科学文化センター
研究紀要 第6集	千葉県立上総博物館
資料館報	日本大学農獣医学部資料館
昭和30年代のくらし	小樽市博物館
沼津市のなりたち	沼津市明治史料館
NN288号窯・NN289号窯	名古屋市教育委員会
研究報告 (人文科学) 第2巻第2号	千葉県立中央博物館
自然誌研究報告 〃 〃	〃
研究報告 (人文科学) 第3巻第1号	〃
NATURAL HISTORY RESEARCH	〃
伝統の美	八戸市博物館
地域文化 (A625)	八十二文化財団
足立区立郷土博物館紀要 A615号	足立区立郷土博物館
研究報告 第3号	苫小牧市博物館
美術資料目録	〃
年報 (平成4年度版)	〃
おふるまい (くらしと漆器)	相川郷土博物館
福島県立博物館紀要 第7号	福島博物館
富山県「立山博物館」 第2号	立山博物館
〃 第1号	〃
越野 (越野遺跡発掘調査)	帝京大学
鉄砲伝来と紀州	和歌山市立博物館
紀要 第1号	安土城考古博物館
平成4年度年報	〃
讃岐の文人画展	高松市歴史資料館
開かれた古代への扉	土浦市立博物館
龍草廬	彦根城博物館
柏原市埋蔵文化財発掘調査概要	柏原市教育委員会
本郷遺跡	〃
柏原市遺跡群発掘調査概報	〃
大泉南遺跡	〃
日本出土の貿易陶磁 西日本編 1	国立歴史民俗博物館
日本出土の貿易陶磁 西日本編 2	国立歴史民俗博物館
〃 〃 3	〃
終末期古墳の世界	北九州市考古博物館

書名	寄贈者
北九州市立考古博物館年報	〃
立山町の石造物第4集	立山町教育委員会
古屋敷Ⅲ遺跡	〃
立山町埋蔵文化財分布調査報告Ⅷ	〃
西駒込・東二ツ石・湧玉遺跡	長野県御代田町教委
細田遺跡	〃
川原田遺跡(平安・中世編)	〃
描かれた富士の信仰世界	富士吉田市歴史民俗博物館
塩野西遺跡群	御代田町教育委員会
年報	名古屋博物館
古墳最盛期の文化	上田市立信濃国分寺資料館
古地図展	豊橋市美術博物館
東海道五十三次宿場展	豊橋市二川宿本陣資料館
妙泉寺展	〃
徳島県立博物館年報 第2号	徳島県立博物館
南武蔵の古墳	府中市郷土の森博物館
飛鳥・藤原宮発掘調査概報23	奈良国立文化財研究所
北上市立博物館研究報告 第9号	北上市立博物館
くらしの造形「凧」	武蔵野美術大学
福岡市埋蔵文化財センター年報	福岡市埋蔵文化財センター
大木根東遺跡	大木根東遺跡調査団
埋蔵文化財発掘調査概報集Ⅱ	〃
長野県埋蔵文化財センター年報9	長野県埋蔵文化センター
発掘成果速報	京都府立山城郷土資料館
穂別町立博物館館報	穂別町立博物館
〃 研究報告	〃
〃 ガイドブック	〃
館報 №14号	埼玉県立歴史資料館
研究紀要 №15号	〃
貨幣の歴史	石巻文化センター
埼玉県入間東部地区の歴史の道	入間東部地区文化財保護連絡協議会
研究紀要 すばる	広島市こども文化科学館
登呂博物館報 3	静岡市立登呂博物館
〃 2	〃
〃 1	〃
プラネタリウム学芸報	千葉市立博物館
通信総合博物館年報	通信総合博物館 ていぱーく
神奈川自然誌資料	神奈川県立博物館
鳥羽水族館年報 №2	鳥羽水族館
〃 №3	〃
研究紀要 第7号	神戸市立博物館
〃 第8号	〃
神戸市立博物館年報 №7	〃
〃 №8	〃
全国博物館総覧	日本博物館協会
絵馬を読む南相模の絵馬	平塚市博物館
谷津遺跡第16地点	富士見市遺跡調査会
富士見市の遺跡	〃 教育委員会
富士見市内遺跡 1	埼玉県 〃
日本刀の美	群馬県立歴史博物館
研究報告 第二集	西宮市立郷土博物館
兵庫県西宮市所在絵馬調査報告書	〃 教育委員会
銅銭の考古学	〃 郷土資料館
西宮市立郷土資料館報(H4年度)	〃 教育文化センター
柿平土地区画整理事業地内試掘調査報告	櫛形町教委

書名	寄贈者
町内遺跡詳細分布調査報告書	〃
椿城跡	〃
柿平土地区画整理事業地内試掘調査報告	橿形町教育委員会
平成元・3年度遺跡現地説明会資料	神戸市教育委員会
疫神信仰にみる祈りと願い	吹田市博物館
星まつり 日本の七夕	安城市歴史博物館
神戸市埋蔵文化財センター常設展案内	神戸市教育委員会
神戸市立博物館年報 No.7	神戸市立博物館
〃 No.8	〃
研究紀要 第7号	〃
〃 〃 8 〃	〃
漁民の活動とその習俗 1	平凡社
明治大学人文科学研究所紀要	明治大学人文科学研究所
押部遺跡	神戸市教育委員会
本山遺跡第12次調査の概要	〃
雲井遺跡	〃
地下に眠る神戸の歴史展IX	〃
昭和62年度神戸市埋蔵文化財年報	〃
平成元年度 〃	〃
平成2年度 〃	〃
豊田資料業書上 (渡辺半蔵家分限帳)	豊田市教育委員会
平成さがみはら風土記稿	相模原市教育委員会
中里遺跡	東京都北区教育委員会
みくに龍翔館	みくに龍翔館
国府遺跡 V	山梨県春日居町教育委員会
西ヶ原遺跡群 (本文～No.1 挿図～No.2)	地下鉄7号線西ヶ原駅遺跡調査団
相模原の川漁	相模原市教育委員会
さがみはらの民俗芸能 No.14	相模原市民族芸能保存協会
内匠上之宿遺跡	群馬県教育委員会
川ごよみ	財団法人河川情報センター
山形県立博物館研究報告	山形県立博物館
収藏品目録	福岡市博物館
鯨の世界	山形県立博物館
妖怪展	川崎市市民ミュージアム
研究紀要 第3号	福岡市博物館
福岡市博物館年報	〃
青森県立郷土館収蔵資料目録 第3集	青森県立郷土館
大秋・白沢の民俗	〃
調査研究年報 第17号	〃
青森県立郷土館報第20号	〃
朝日北遺跡	佐賀県教育委員会
羽根戸古墳群 2	福岡市教育委員会
〃 3	〃
〃 4	〃
相原古墳群 2	〃
タカバン塚古墳	〃
山の鼻2号墳	〃
鴻臚館跡III	〃
横浜開港資料館紀要	横浜開校資料館
明治維新期の横浜英仏駐屯軍	〃
大和を掘る	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
信濃大室積石塚古墳群の研究 I	東京堂出版 (大塚初重ほか2名)
西野遺跡 柴戸遺跡 II	亀山市教育委員会
東樺野遺跡II	〃
亀山市埋蔵文化財分布地図	〃

書名	寄贈者
埼玉の窯業	埼玉県立歴史資料館
研究紀要 第15号	"
金井原遺跡	高遠町教育委員会
中越遺跡	宮田村遺跡調査会
福岡市埋蔵文化財センター年報	福岡市教育委員会
北海道開拓記念館研究年報	北海道開拓記念館
積丹半島の自然と歴史(人文編)	"
北海道開拓記念館調査報告	"
加藤正氏資料目録	"
生活 III	"
北海道博物館等施設所蔵資料等概況	"
北の歴史・文化交流研究事業(中間報告)	"
先住民の文化(カナダ・アルバータ州)	"
NKH(長岡市立博物館報)	長岡市立博物館
長岡市立博物館研究報告	"
鯨の文化誌	千葉県立安房博物館
氷見市立博物館年報	氷見市立博物館
宮永家文書 その六	"
" その七	"
研究紀要	高知県立歴史民俗資料館
高知県立歴史民族資料館年報	"
調査研究報告	埼玉県立さきたま資料館
巡礼と参詣	奈良県立民族博物館
東アジアの文明の盛衰と環境変動	天理大学文学部考古学研究室
埼玉県行政文書総目録 第5集	埼玉県教育委員会
さいたまの文書~近世~	" 立文書館
大熊(正)家文書目録	"
沼津御用邸のあゆみ	沼津歴史民俗資料館
江戸東京博物館	江戸東京博物館
青少年科学活動指導者研修	国立科学博物館
日記・書簡編V	豊島区立郷土資料館
米沢市立上杉博物館年報 Vol4	米沢市立上杉博物館
新発見川中島合戦図屏風の世界	上越市立総合博物館
九州歴史資料館年報	九州歴史資料館
研究論集 18	"
要覧 1993	神奈川大学日本常民文化研究所
靈岩新燕里9號墳	Kwangju ナショナル博物館
あそぶ展	富山市教育委員会
埋蔵文化財年報(4)	富山県文化振興財団
則重・義弘とその周辺	富山市教育委員会
東アジアの文明の盛衰と環境変動	天理大学文学部考古学研究室
日本美術院百年史十四巻	日本美術院
古墳測量調査(1)	豊橋市教育委員会
白石遺跡	"
上寒之谷1号墳	豊橋市教育委員会
埋蔵文化財調査報告書 第9集	久留米市教育委員会
安武地区遺跡群III	"
北村遺跡	長野県教育委員会
青梅市史史料集第43号 稿本三田村史	青梅市教育委員会
明治大学刑事博物館目録 第57号	明治大学刑事博物館
" " 資料 第15集	"
内藤家文書増補・追加目録(3)	"
明治大学刑事博物館 年報24	"
考古資料図録VIII 1993	横須賀市人文博物館
横須賀市博物館研究報告 第40号(自然)	" 自然博物館

書名	寄贈者
横須賀市博物館報	〃 〃
〃 〃 資料集	〃 〃
横須賀市博物館研究報告 第37号 (人文)	〃 市人文博物館
みんなの学校～学校の宝物はこれだ～A	小山市立博物館
〃 B	〃
めし、むすび、もち、かしのルーツ	静岡市立登呂博物館
安部川水紀行	〃
みののとっくり	瑞浪陶磁資料館
明治時代の八王子	八王子市郷土資料館
日本の地質学100年	日本地質学会
地域文化	八十二文化財団
大分市歴史資料館年報	大分市歴史資料館
Funai (府内及び大友氏関係遺跡 総合調査研究年報1)	〃
鳥の形とくらしI	我孫子市鳥の博物館
小山市立博物館報 10号	小山市立博物館
恐竜の謎にせまる	豊橋市自然史博物館
恐竜の世界	〃
三芳野神社の社宝	川越市立博物館
歴史と民族	神奈川大学日本常民文化研究所
安積野のバイオニアたち	福島県郡山市教育委員会
調査研究報告	埼玉県立さきたま資料館
南蛇井増光寺遺跡 II	群馬県教育委員会
矢田遺跡 IV	〃
高田大屋敷遺跡	静岡県菊川町教育委員会
古裂會	古裂會
旭川点描	旭川市博物館教育委員会
旭川市博物館要覧	〃
安城市歴史博物館年報	安城市歴史博物館
安祥城址～発掘調査報告書～	安城市教育委員会
明治大学考古学博物館報	明治大学考古学博物館
佐鳴湖西岸遺跡群 (本文) ①	浜松市文化協会
〃 (図版) ②	〃
お伊勢まいり	大宮市立博物館
豊原國周展	野田市郷土博物館
豊橋市美術博物館年報	豊橋市美術博物館
弥生人のみた楽浪文化	大阪府立弥生文化博物館
選ぶ・割る・磨く	栃木県立博物館
祈り・忌み・祝い	石川県立歴史博物館
広瀬の民俗	長野市誌編さん委員会
上戸塚正上寺遺跡	群馬県教育委員会
小倉中稲II遺跡	婦中町教育委員会
富山県婦中町小倉中遺跡発掘調査報告	〃
剣大谷1号墳発掘調査報告書	福井市教育委員会
館報 第14号	富山市科学文化センター
Fish eye 1988～1993	五藤光学研究所
室木中畑遺跡	鞍手町教育委員会
身近に遺跡が…	氷見市立博物館
着る	茅野市ハッ岳総合博物館
史跡石清尾山古墳群ガイドブック	高松市教育委員会
安田城跡	婦中町教育委員会
貝塚博物館紀要	千葉市立加曽利貝塚博物館
館報	千葉市立郷土博物館
沖山遺跡	都立赤塚公園遺跡範囲確認調査会
板橋古文書調査目録	板橋区教育委員会
説経節と若松若太夫	〃

書名	寄贈者
海を渡ってきた陶人たち	吹田市立博物館
かみとほとけのかたち	栗東歴史民俗博物館
氷見市寺社調査報告書浄土真宗本願寺派の部	氷見市教育委員会
いたばしの文化財	板橋区教育委員会
山梨の経塚	山梨県立博物館
研究連絡誌 第37号	千葉県文化財センター
〃 第38号	〃
歴史時代(Ⅰ)	〃
斉宮歴史博物館研究紀要二	斉宮歴史博物館
神保富士塚遺跡	群馬県教育委員会
元総社寺田遺跡Ⅰ	群馬県埋蔵文化財調査事業団
群馬県立歴史博物館 年報13号	群馬県立歴史博物館
群馬県立歴史博物館 年報14号	群馬県立歴史博物館
日本の色絵柿右衛門の優雅な世界	小田原市郷土文化館
展示概説	飯田市上郷考古博物館
巫女の文化～斉宮をめぐる文化～	斉宮歴史博物館
琉球王朝の美	彦根城博物館
天命 鋳物展	佐野市郷博物館
聖徳太子の時代	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
よみがえる尾張医学館薬品会	名古屋市博物館
東海百観音名宝展	〃
刻まれた歴史～沖縄の石碑と拓本	沖縄県立博物館
沖縄県立博物館紀要	〃
〃 年報 (No.26)	〃
木棺～弥生～古墳(特別展)	桜井市立埋蔵文化センター
兵庫県立西はりま天文台公園園報	兵庫県立西はりま天文台公園
農家の食～世田谷区宇奈良を中心に～	世田谷区教育委員会
歴史資料目録(3)～生活・産業～	釧路市立博物館
阿寒川水系総合調査報告書	釧路市教育委員会
更北地区の地名	更北地区名調査委員会
詩人三好達治と周辺の人々	みくに龍翔館
早雲寺の歴史と文化	箱根町立郷土資料館
登呂遺跡第1次調査の記録	静岡市立登呂博物館
登呂むらの暮らし	〃
近世三河の俳諧	安城市歴史博物館
天下布武へ	安土城考古博物館
友の会～10周年記念誌～	大田区立郷土博物館
山名戸矢遺跡	高崎市遺跡調査会
柴崎遺跡群、南大類遺跡群	高崎市教育委員会
東金井Ⅱ遺跡	〃 遺跡調査会
高崎市内遺跡埋蔵文化財	〃
上佐野舟橋Ⅲ遺跡	〃
浅間・榛名の怒り	〃
文晁とその門人による模写絵	世田谷区立郷土資料館
展示概説	飯田市上郷考古博物館
にぎわいの時	土浦市立博物館
横浜と上海	横浜開港資料館
氷見を描くⅠ	氷見市立博物館
読谷村立歴史民俗資料館紀要	沖縄県歴史民俗資料館
神々のすがた	石巻文化センター
読谷村立歴史民俗資料館年報	沖縄県歴史民俗資料館
狭間遺跡発掘調査報告書	狭間遺跡発掘調査団
歴史人類 第21号	筑波大学歴史・人類学系
平塚遺跡	八王子市平塚遺跡発掘調査団
麻生田大橋遺跡発掘調査報告書	豊川市教育委員会

書	名	寄 贈 者
長野県埋蔵文化財センター 年報 9		長野県埋蔵文化財センター
史跡高井田横穴公園整備事業報告		柏原市教育委員会
安福寺横穴群整備事業報告		〃
縄文土器の世界		松戸市立博物館
浪人踊りの歩み		東郷町教育委員会
仙台市博物館 年報20号		仙台市博物館
国立歴史民俗博物館研究報告51集		国立歴史民俗博物館
真夏の大崩落 2冊		長野市地附山地すべり災害誌編さん委員会
町人のくらし		調布市郷土博物館
さいたまの文書～中世～		埼玉県立文書館
なりわいの知恵～とる、つくる、だべる～		岡山県立博物館
北海道開拓記念館総合案内		北海道開拓記念館
紫式部日記絵巻の世界		徳島市立徳島城博物館
古代の島根と四国地方		島根県立八雲立つ風土記の丘資料館
棟札銘文集成～中国・四国・九州～		国立歴史民俗博物館
鯨・勇魚・くじら～クジラをめぐる民俗文化史		四日市立博物館
調査研究報告 第5号		千葉県立大利根博物館
日光東照宮宝物展		豊田市立博物館
山越・久方ノ台の遺跡		松山市教育委員会
かいなご3号墳・平井谷1号墳		〃
墨 斉		宮内墨斉展実行委員会
古びわ湖層群伊賀油日累層でのクロコダイル科のワニの足跡化石		大山田教育委員会
国立歴史民俗博物館研究報告 第52集		国立歴史民俗博物館
〃 53集		〃
切通村文書目録		岐阜市歴史博物館
近世の盤梯町～磐梯町史資料編Ⅲ		磐梯町史編纂委員会
福井県立博物館年報 第4号		福井県立博物館
浅川 <small>アサガハ</small> のメタセコイア化石林		八王子市教育委員会
城山遺跡		浜松市教育委員会
教育～その200年の流れ～		小松市立博物館
二十年のあゆみ		箕輪町郷土博物館
群馬県立歴史博物館紀要		群馬県立歴史博物館
はにわ～秘められた古代の祭祀		〃
八重根 東京都港湾局遺跡調査会		八丈島八重根
国立歴史民俗博物館研究報告 第54集		国立歴史民俗博物館
群馬の岩宿時代		笠懸野岩宿文化資料館
環状ブロック群（資料集）		〃
河内長野市遺跡調査会報Ⅵ		河内長野市遺跡調査会
ANNUAL REPORT (No.3) 1993		兵庫県立西はりま天文台年報
三島平遺跡Ⅱ		戸倉町教育委員会
和気・堀江の遺跡		松山市教育委員会
松山市埋蔵文化財調査年報Ⅴ		〃
松本市北栗遺跡		松本市教育委員会
松本市百瀬遺跡		〃
松本市下原遺跡		〃
松本市塩辛（Ⅱ・Ⅲ）、矢作、松蔭寺遺跡		〃
松本市里山辺丸山古墳		〃
松本市小原遺跡Ⅱ		〃
来住庵寺遺跡（第15次調査報告）		松山市教育委員会
積石塚の郷上八町区誌		須坂市上八町区誌刊行会
長野大学紀要 第15巻2号		長野大学産業社会学部
〃 1号		〃
自然環境科学研究		平岡環境科学研究所
93要覧		北海道開拓記念館
下町・中世再発見		葛飾区郷土と天文の博物館

書名	寄贈者
年報～平成4年度～	知立市歴史民俗資料館
日光東照宮宝物展	豊田市郷土博物館
研究紀要(創刊号)	広島県立歴史博物館
遊戯宴	〃
サルからひとへ～最古の文化と瀬戸内～	〃
豊橋市自然史博物館 年報5号	豊橋市自然史博物館
成城大学民俗学研究所～20年の歩み～	成城大学民俗学研究所
民俗学研究所紀要第17集	〃
研究紀要 第10号	栃木県立博物館
川に生きる～江の川漁撈文化～	広島県立歴史民俗資料館
苫小牧市科学センター年報	苫小牧市科学センター
浮世絵・川中島大決戦(図版編)	北斗美術研究会
視聴覚教育センター年報	豊橋市教育委員会
水辺環境	長野水辺環境保存会
地域文化 1994-1	八十二文化財団
大理石彫刻家シンポジウム 1993	長野県佐久大理石彫刻家シンポジウム
ASTRO CALENDAR 1994	山中町婦人児童館
川崎市民ミュージアム年報	川崎市市民ミュージアム
1991年度 年報Ⅱ～下鈎・狐塚・上鈎遺跡～	栗東町文化体育振興事業団
1992〃 年報	〃
山形県立博物館所蔵資料目録	山形県立博物館
やまがたの昆虫	〃
現代名刀展～東北・北海道の刀匠～	鹽竈神社博物館
千葉県立房総のむら年報	千葉県立房総のむら
映画を友に40年	松澤忠利
年報(No.10号、平成4年度)	八戸市博物館
市内遺跡Ⅵ	群馬県渋川市教育委員会
中筋遺跡(第7次発掘報告書)	〃
年報 平成4年度	広島県立みよし風土記の丘・広島県立歴史民俗資料館
標茶町郷土館収蔵・展示資料目録(4)	北海道標茶町郷土館
荘園絵図とその世界	国立歴史民俗博物館
装飾古墳の世界	〃
郷土(小諸市郷土遺跡発掘調査報告書)	小諸市教育委員会
相方地区埋蔵文化財発掘調査の速報	広島県新市町教育委員会
年報～平成4年度～	栗東歴史民俗博物館
ASTRO CALENDAR	山中町婦人児童館
大阪市立自然史博物館館報	大阪市立自然史博物館
MUSEUM STUDY(紀要)	明治大学学芸員養成課程
長野市飯綱高原の豊かな自然復元基本調査報告(本編と資料編)	長野市左記委員会
原 渡辺家文書目録	沼津市明治史料館
研究紀要 8	和歌山市立博物館
和歌山市立博物館館報	和歌山市立博物館
地域へそそぐ眼差	足立区立郷土博物館
アイヌ文化を学ぶ	アイヌ無形文化伝承保存会
学芸研究紀要 第10集	東京都教育委員会
熊野信仰の世界～古代の祈り	齋宮歴史博物館
北ノ原Ⅲ遺跡	駒ヶ根市教育委員会
山田遺跡	〃
橋原遺跡	橋原遺跡発掘調査団
塚田遺跡(南条遺跡群)	坂城町教育委員会
宮上遺跡Ⅱ(中之条遺跡群)	〃
さいたまの文書～近代～	埼玉県立文書館
千葉県文化財センター 年報No.18	千葉県文化財センター
地球儀の世界	土浦市立博物館
奉納された道中アルバム	埼玉県博物館

書名	寄贈者
埋蔵文化財ニュース	奈良国立文化財研究所
上杉謙信と春日山城	越後一ノ宮居多神社宮司 花ヶ前盛明
上杉謙信	〃
千葉県市原市椎津茶ノ木遺跡1992	市原市文化財センター
草刈尾梨遺跡	〃
市原市文化財センター研究紀要II	〃
二川区有文書～郷土資料展III～	豊橋市二川宿本陣資料館
豊橋市二川宿本陣資料館年報	〃
面白い習性～祝賀魚天然記念物～	池田貢
年報(平成4年度、№14号)	日立市郷土博物館
佐久間象山～江戸の師友と門人～	象山桑原記念館
町田の文化財	町田市立博物館
寒山捨得～描かれた風狂の祖師たち～	栃木県立博物館
多摩川流域の神社分布の特質とその信仰形態をめぐる研究	牛山佳幸
瑞浪市化石博物館研究報告 20号	瑞浪市化石博物館
真宗の美術～第2回安城の文化財展～	安城市歴史博物館
郡山東部 13	福島県郡山市教委
清水台遺跡 2冊	〃
高津尾遺跡17区発掘調査報告	法政大学文学部考古学研究室
市誌研究「ながの」第1号	長野市誌編さん委員会
高松平野の考古学のあけぼの	高松市歴史資料館
高松市歴史資料館要覧	〃
〃 常設展示図録	〃
道後城北遺跡群II	松山市教育委員会ほか
武蔵国造の乱	大田区立郷土博物館
青梅市仏像彫刻調査概報	青梅市教育委員会
大津市歴史博物館年報	大津市歴史博物館
登呂の時代～むらびとたちのくらしぶり～	静岡市立登呂博物館
静岡市立登呂博物館20年のあゆみ	〃
器は語る須恵器の美と技と	熊本県立装飾古墳館
装飾古墳	〃
地震観測所技術報告	気象庁地震観測所
長野県短期大学紀要	長野短期大学
飛翔～開館十周年記念～	松本市教育文化センター
山武考古学研究所年報 №11	山武考古学研究所
世田谷の土蔵	世田谷区教育委員会
世田谷区文化財調査報告集 №2	〃
世田谷区埋蔵文化財調査年報	〃
下野毛遺跡III	〃
これは何でしょうか～なつかしの生活用具	世田谷区立郷土資料館
民間信仰～足立風土記資料民俗3～	足立区教育委員会
近世地誌史料集	足立区教育委員会
永野家文書文書二	〃
神社明細	〃
日本議会政治の歩み特別展第1回展示目録	憲政記念館
野毛大塚古墳II 1993	世田谷区教育委員会
熊本市自然・文化資料集成V H・4 完結編	熊本市立熊本博物館
第14回企画展「切手の中の鳥たち」	我孫子市鳥の博物館
企画展田道町遺跡とその時代～古代を掘る	石巻文化センター
高島秋帆～西洋砲術家の生涯と徳丸原	板橋区立郷土資料館
いもいの民話	長野市芋井公民館
MOUSEION №39	立教大学博物館研究会
63歴博	国立歴史民俗博物館
発掘された東海の古代	名古屋博物館
江戸時代の門松	〃

書名	寄贈者
博物館実習報告 第9号	お茶の水女子大学芸員課程
鳥居龍蔵のみた北方民族	北海道立北方民族博物館
平成4年度年報	〃
大境遺跡	栃木県教育委員会
砂田A遺跡	〃
埋蔵文化財センター年報	栃木県埋蔵文化財センター
富樫庶流旗本坪内家一統系図並由緒(二)	各務原市歴史民俗資料館
国立歴史民俗博物館研究年報	国立歴史民俗博物館
中世の伊万里～松浦党の人々～	伊万里市歴史民俗資料館
駒沢新町遺跡Ⅱ(2冊)	長野市教育委員会
古町遺跡流入塚(2冊)	〃
田牧居帰遺跡(2冊)	長野市教育委員会
石川条里遺跡(7)(2冊)	〃
上見林遺跡(2冊)	〃
松原遺跡Ⅱ(2冊)	〃
三輪遺跡(4)(2冊)	〃
史跡松代藩主真田家墓所	〃
中町祭礼町	知上市教育委員会
家康の遺産～駿府御分物～	徳川美術館博物館
江戸東京博物館～総合案内～	江戸東京博物館
近世の氷見町と庶民の暮らし	氷見市立博物館
房総風土記の丘 年報16	千葉県立房総風土記の丘
研究紀要	熊本県立美術館
突山山救地遺蹟	国立光州博物館
南多摩窯跡群	山野学苑(山野美容芸術短期大学)
中央自動車道長野線 埋蔵文化財発掘調査報告書1(本文写真図版)	長野県埋蔵文化財センター
大町山岳博物館総合案内	大町山岳博物館
中央自動車道長野線 埋蔵文化財発掘調査報告書12	長野県埋蔵文化財センター
国立歴史民俗博物館研究報告 第55集	国立歴史民俗博物館
熊本県立美術館年報 H・4	熊本県立美術館
塚本武治遺作展	真壁町歴史民俗資料館
年報～12～	群馬県埋蔵文化財調査事業団
さがの人形の家「竹田人形」1993年3号	さがの人形の家
開館記念20年のあゆみ	千葉県立安房博物館
埋文センター5年のあゆみ	桜井市教育委員会
高梨氏館跡～発掘調査報告書～	長野県中野市教育委員会
遺跡調査室年報Ⅴ(S63年度)	立正大学熊谷校地遺跡調査室
〃 Ⅵ(平成5年度)	〃
研究集録 第30号	小樽市青少年科学技術館
博物館報 第2号(平成4年度)	東京都葛飾区郷土と天文の博物館
旭川の子供たちと昭和～当時の子どもが語る～	旭川市博物館
志賀自然教育研究施設研究業績 31号	信大教育学部
瑞浪陶磁資料館 年報第13号	東濃西部歴史民俗資料年報
魚津水族館年報 第4号	魚津水族館
近世風流波づくし	神戸海洋博物館
研究紀要 第16・17号	東北歴史資料館
〃 第18号	〃
図説・松本の歴史上下巻	郷土出版社
信濃の女性史(写真記録)	〃
重信川周辺の泉とその生物	愛媛県立博物館
愛媛の自然	〃

## 2) 自然資料

資 料 名	数 量	寄 贈 者 ( 敬 称 略 )
カキ化石	1	守屋益雄 ( 諏訪市高島 )
アケボノゾウ白歯化石他	21	井出秀夫 ( 小諸市 )
シーラカンス模型	1	八十二銀行 ( 長野市中御所 )
黄鉄鉱	2	猿島忠幸 ( 春日井市篠木町 )
魚類化石	5	倉田 稔 ( 長野市松代町 )
巻貝・二枚貝	17	平井利子 ( 長野市高田 )
水晶	1	大木淳一 ( 新潟市 )
鉱物	9	曾根原方教 ( 長野市安茂里 )
貝類化石・岩石	93	田中邦雄 ( 松本市元町 )
巻貝・二枚貝	22	両角和子 ( 長野市篠ノ井 )
植物化石	1	吉川博章 ( 松本市美須々 )
化石・鉱物他	1,904	中塚敬之助 ( 京都市伏見区 )

## 3) 民俗資料

資 料 名	数 量	寄 贈 者 ( 敬 称 略 )
瓦製作用具	1式	滝沢彦太郎 ( 篠ノ井 )
長野麻商組合の看板	1点	小林 保 ( 桜枝町 )
重箱他	42点	和田なか江 ( 七瀬中町 )
花火打ち上げ用筒他	4点	岡沢由往 ( 小島田町 )
唐箕	1点	田島 隆 ( 川中島町 )
備中鍬	2点	井上栄一郎 ( 青木島町 )
番傘他	38点	山本勝成 ( 南長池 )
米びつ他	59点	小林公太郎 ( 西町 )
打ち掛け他	3点	塚田信幸 ( 南石堂町 )
豆いり器他	5点	西村 武 ( 小柴見 )
除草機	1点	笠井朋一 ( 篠ノ井 )
棒ばかり	2点	伝田昌弘 ( 桜枝町 )
鬼面他	3点	小島竹一郎 ( 若里 )
自在鉤他	6点	佐々木愛明 ( 七瀬中町 )
産湯用桶他	133点	倉石直太 ( 南俣 )

## 3 寄託資料

- 更級郡東福寺村 小林家文書 一括 (江戸時代からの文書、年貢関係が主)
- 更級郡山田山村 酒井家文書 一括 (江戸時代の地方文書)
- 水内郡 大鈴木家文書 一括 (江戸時代の善光寺町関係の町方文書)
- 水内郡千田村 千田連絡会 (瑠璃光寺文章)  
一括 (江戸時代から現代にいたる地方文書および区有文書)

# IV 博物館管理運営

## 1 平成5年度歳出当初予算概要

(単位：千円)

節	内 訳	予 算 額	管理運営	展示管理	収蔵品管理	教室	展 示					調査研究	フネタリム	政策費	
							収蔵	天文	宇宙	浄土信託	鉱物				移動
1)	報酬	2,097	2,097												
2)	給料	28,421	28,421												
3)	職員手当	18,790	18,790												
4)	共済費	8,379	8,379												
7)	賃金	18,790	16,335			66		541	125	110		1,363	250		
8)	報償費	1,361	90			296		430	140	75		330			
9)	旅費	1,013	402			27	10	300	48	70		156			
10)	需用費	29,860	23,888		210	170	299	2,055	512	547	111	969	1,099		
	(消耗品費)		(2,290)		(60)	(147)		(175)	(50)	(90)	(20)	(150)	(185)		
	(燃料費)		(2,862)												
	(食糧費)		(55)			(6)		(12)		(5)		(108)			
	(印刷製本費)		(4,903)		(150)	(17)	(299)	(1,868)	(462)	(452)	(91)	(711)	(834)		
	(光熱水費)		(13,283)												
	(修繕料)		(495)										(80)		
	(医療材料費)														
12)	役務費	7,177	4,957					600	1,620						
13)	委託料	25,707	17,702	3,450	1,708	10	36	608	216	184	235	300	1,258		
14)	使用料及び賃借料	6,697	1,647	1,915	2,460	451		80					144		
15)	工事請負費	21,200	200					200							20,800
16)	原材料費	336	100			46		90	50	50					
18)	備品購入費	1,387	1,087										300		
19)	負担金及び交付金	81	81												
20)	公課費	9	9												
	計	171,305	124,185	5,365	4,378	1,066	345	4,904	2,711	1,036	346	3,118	3,051	20,800	

## 2 管理業務 (役務費・委託料)

(単位：千円)

名 称	金 額
自家用電気保安点検	439
エレベーター保守点検	631
警備業務 (本館)	445
〃 (分館)	208
プラネタリウム保守点検	882
ターボ冷凍機保守点検	567
展示模型映像機器保守点検	445
空調設備自動制御保守点検	927
くん蒸装置保守点検	140

消防用設備点検 (分館)	71
し尿浄化槽法定検査	13
空調設備等管理	6,525
し尿浄化槽管理	661
清掃業務 (本館)	6,550
〃 (分館)	1,320
庭園管理	483
くん蒸業務	1,510
空調機器 (冷暖房) (分館)	78
合 計	21,895

### 3 利用状況

#### 1) 資料の館外貸出

貸出番号	貸出先	資料名	点数
5 - 1	信越放送	天体写真スライドなど	10
2	上田市立信濃国分寺資料館	長礼山2号古墳ほか出土遺物	40
3	信越放送	天体写真スライド	6
4	平塚市博物館	白色光フレアスケッチ	1
5	県立歴史館準備室	神楽橋遺跡弥生土器ほか紙焼き	4
6	長野県埋蔵文化財センター	若穂地区古地図	1
7	真田宝物館	婚礼衣装(打掛)	4
8	県立歴史館準備室	糸燃車ほか	6
9	真田宝物館	内裏雛	65
10	県立歴史館準備室	伊勢宮遺跡木棺墓ポジフィルム	1

#### 2) 資料等の特別利用

利用番号	申請者名	利用資料名	点数	利用の方法	利用月日
5 - 1	郷土出版社	和田英関係資料		写真撮影・掲載	4月20日
2	信越放送	善光寺平洪水資料		撮影・放送	6月22日
3	信濃毎日新聞社	石鏃・石斧など	6	写真撮影・掲載	6月22日
4	長野県考古学会	川柳將軍塚古墳石製品		“ ”	8月10日
5	大賀克彦	小島境遺跡玉作資料		実測	8月24日
6	岡山元規	湯谷1号墳ほか馬具	3	“ ”	9月3日
7	県立歴史館準備室	桶・鍋・鎌など	5	撮影	9月7日
8	滝澤公男	小林家文書・青木家文書	340	閲覧	9月15日
9	善光寺事務局	善光寺瓦	2	写真撮影・掲載	10月28日
10	長野県埋蔵文化財センター 中野調査事務所	上ヶ屋遺跡出土石器		閲覧	2月9日

#### 3) 特別展示室

- ① 利用者 北斗美術研究会  
利用期間 平成5年11月3日～7日  
「浮世絵・川中島大決戦展」開催のため
- ② 利用者 長野県埋蔵文化財センター長野調査事務所  
利用期間 平成6年2月5日～13日  
利用目的 平成5年度発掘調査速報展の開催のため

## 4 入館者状況

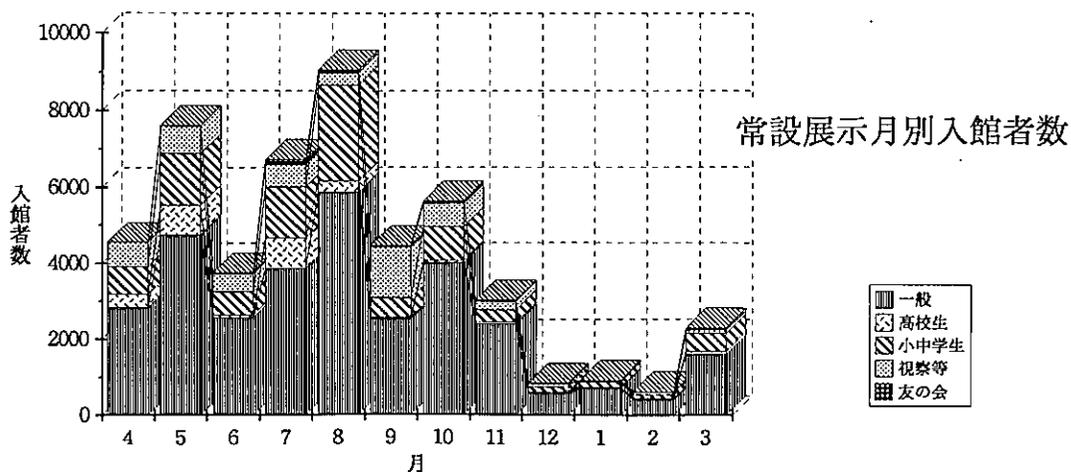
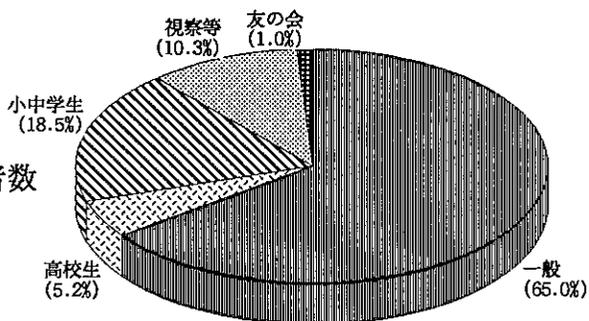
(平成5年4月～平成6年3月)

### 1) 博物館常設展示

常設展示月別入館者数

区分 月	個人			団体			合計			視察等	友の会	総合計	開館一日 日数	平均
	一般	高校生	小中学生	一般	高校生	小中学生	一般	高校生	小中学生					
4	1,901	105	560	928	239	173	2,829	344	733	650		4,556	25	182
5	3,549	145	907	1,196	648	442	4,745	793	1,349	716		7,603	26	292
6	1,406	37	246	1,153	47	355	2,559	84	601	470	32	3,746	25	150
7	2,340	109	682	1,520	684	679	3,860	793	1,361	583	129	6,726	27	249
8	4,880	293	1,914	985	0	590	5,865	293	2,504	314	77	9,053	26	348
9	1,701	38	294	830	0	218	2,531	38	512	1,322	48	4,451	24	185
10	2,252	44	309	1,760	0	590	4,012	44	899	607	77	5,639	27	209
11	1,510	47	240	900	0	79	2,410	47	319	213	32	3,021	23	131
12	539	21	137	47	0	0	586	21	137	87	14	845	23	37
1	649	21	155	57	0	0	706	21	155	18	18	918	24	38
2	370	31	86	41	0	22	411	31	108	47	27	624	11	57
3	1,474	80	439	119	5	35	1,593	85	474	78	61	2,291	27	85
計	22,571	971	5,969	9,536	1,623	3,183	32,107	2,594	9,152	5,105	515	49,473	288	172

常設展示区分別入館者数

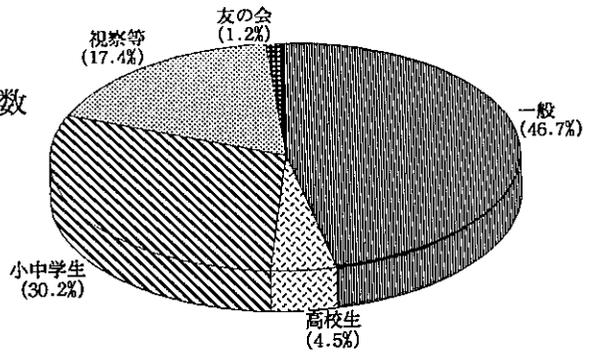


## 2) 自然史館常設展示

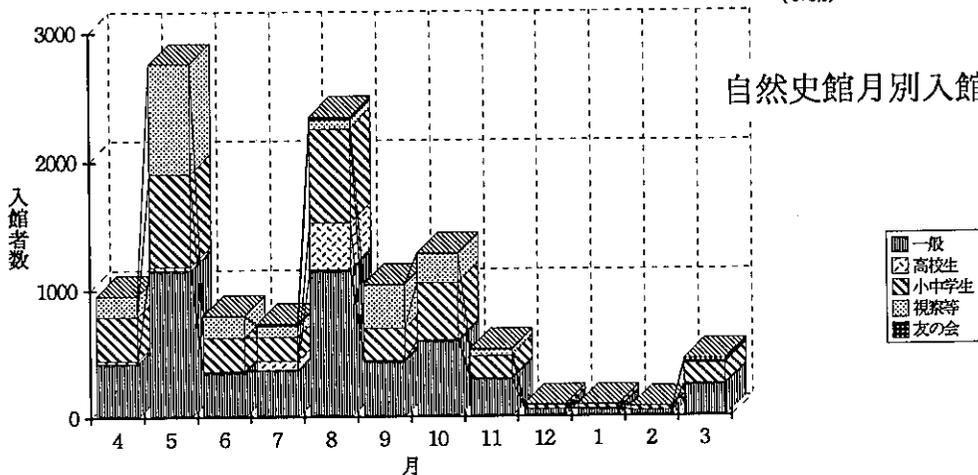
常設展示月別入館者数

区分 月	個人			団体			合計			視察等	友の会	総合計	開館 日数	一日 平均
	一般	高校生	小中学生	一般	高校生	小中学生	一般	高校生	小中学生					
4	430	17	350	0	0	0	430	17	350	160		957	25	38
5	1,112	25	617	47	0	102	1,159	25	719	850		2,753	26	106
6	332	4	233	28	0	32	360	4	265	166	4	799	25	32
7	376	65	191	0	0	0	376	65	191	83	22	737	27	27
8	1,161	364	725	0	0	0	1,161	364	725	64	25	2,339	26	90
9	436	12	251	0	0	0	436	12	251	334	12	1,045	24	44
10	587	4	344	10	0	110	597	4	454	223	10	1,288	27	48
11	284	5	165	13	0	11	297	5	176	46	8	532	23	23
12	58	0	26	0	0	0	58	0	26	9	2	95	22	4
1	56	2	30	0	0	0	56	2	30	0	5	93	24	4
2	44	1	28	0	0	0	44	1	28	0	8	81	23	4
3	250	3	158	0	0	0	250	3	158	8	34	453	27	17
計	5,126	502	3,118	98	0	255	5,224	502	3,373	1,943	130	11,172	299	37

自然史館区分別入館者数



自然史館月別入館者数

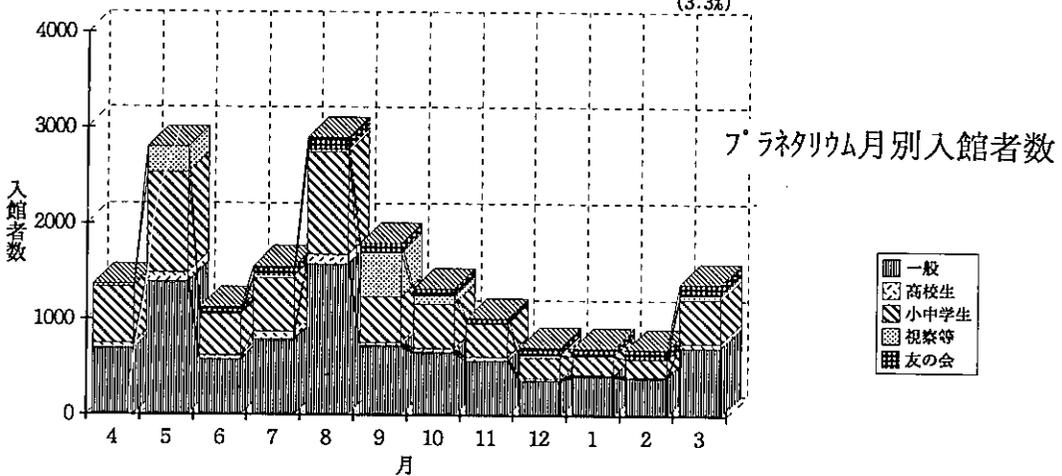
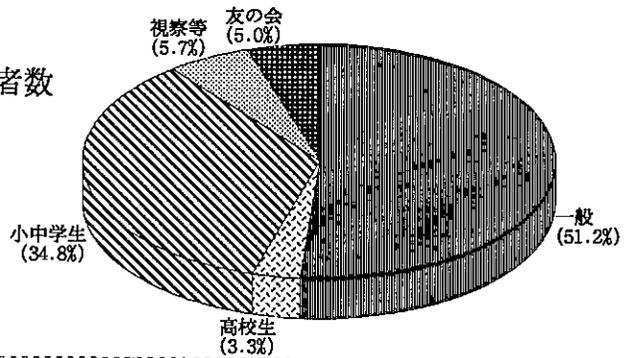


### 3) プラネタリウム

プラネタリウム月別入館者数

区分 月	個人			団体			合計			視察等	友の会	総合計	実施 回数	一日 平均
	一般	高校生	小中学生	一般	高校生	小中学生	一般	高校生	小中学生					
4	695	56	594	0	0	0	695	56	594	27		1,372	42	33
5	1,362	57	899	35	38	141	1,397	95	1,040	265		2,797	58	48
6	560	37	361	27	0	67	587	37	428	17	63	1,132	35	32
7	713	46	430	81	38	129	794	84	559	25	99	1,561	45	35
8	1,587	95	1,062	1	0	0	1,588	95	1,062	29	123	2,897	73	40
9	700	34	432	27	0	56	727	34	488	454	101	1,804	40	45
10	637	38	411	26	0	61	663	38	472	86	75	1,334	44	30
11	537	40	270	39	0	73	576	40	343	13	48	1,020	37	28
12	370	25	218	0	0	0	370	25	218	22	81	716	31	23
1	420	12	200	0	0	0	420	12	200	5	71	708	38	19
2	380	9	168	21	0	22	401	9	190	2	95	697	30	23
3	714	47	463	0	0	0	714	47	463	53	110	1,387	51	27
計	8,675	496	5,508	257	76	549	8,932	572	6,057	998	866	17,425	524	33

プラネタリウム区別入館者数



## 4) 特別展示

- (1) サンシャインプラネタリウム天体写真コンテスト入賞作品展  
 雛人形・五月人形と新収蔵資料展  
 平成5年4月17日～6月6日

開催日数	入館者計	1日平均
43日	11,145人	259人

- (2) 第32回特別展「宇宙への挑戦」  
 平成5年7月4日～8月22日

開催日数	入館者計	1日平均
43日	14,125人	328人

- (3) 第33回特別展「浄土信仰の美」  
 平成5年9月19日～10月17日

開催日数	入館者計	1日平均
24日	5,566人	232人

- (4) 第8回特別展「大地のおくりもの」  
 平成5年7月17日～9月5日

開催日数	入館者計	1日平均
44日	2,955人	67人

## 5 長野市立博物館協議会

### 1) 協議会委員

(任期 平成4年9月25日から平成6年9月24日まで)

職名	氏名	役職	選出区分
会長	原 昌 義	松代史跡文化財開発建造物部会長	社会教育
副会長	小林計一郎	長野郷土史研究会会長	〃
委員	麻 場 長 男	長野県文化財保護協会長野支部副支部長	〃
〃	牛 山 佳 幸	信州大学教育学部助教授	学校教育
〃	倉 田 稔	長野市松代小学校長	〃
〃	島 垣	元信州大学工学部教授	学識経験
〃	吉 川 貞 雄	長野県立歴史館準備室専門員	〃
〃	松 橋 英 幸	元長野県小学校長会長	〃
〃	三井すみ子	郷土を知る会会長	社会教育
〃	山 口 罔 恵	長野市PTA母親文庫運営協議会副会長	〃

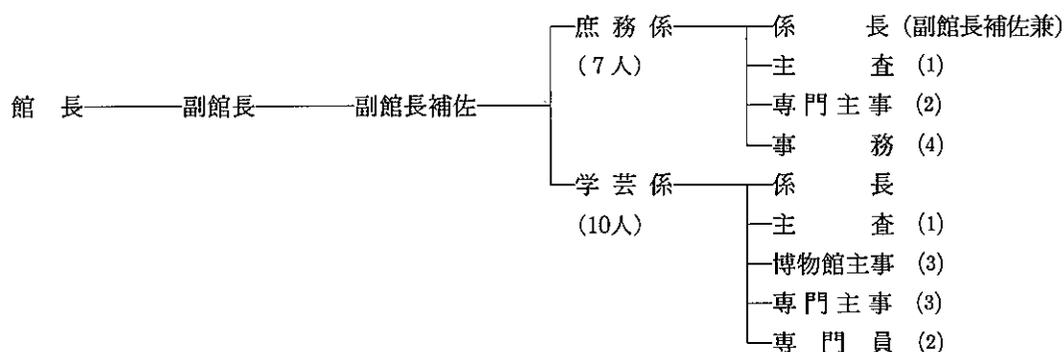
### 2) 協議会審議経過

平成6年3月23日開催

- (1) 平成5年度事業について（報告）
- (2) 平成6年度事業計画について
- (3) 常設展示の改善について

## 6 組織

### 1) 組織図



### 2) 職員(20人)

館長	田中邦雄
副館長	時田孝久
副館長補佐	寺島司
庶務係長	(寺島司)
主査	小林良子
専門主事	常盤真重
専門主事	松木和臣
事務	楠川百年
事務	西澤のり子
事務	坂口昭三(自然史館)
事務	両角和子( " )
学芸係長	山口明(学芸員、考古)
主査	大蔵満( " 、天文)
博物館主事	原田和彦( " 、歴史)
博物館主事	辻浩子( " 、民俗)
博物館主事	畠山幸司( " 、地質…自然史館)
専門主事	吉田幸文(自然史館)
専門主事	倉田稔( " )
専門員	児玉利子
専門員	小山丈夫(歴史)

(平成5年4月1日現在)



---

---

## 年 報 VOL. 12

—平成5年4月～平成6年3月—

発行 平成7年3月31日

編集 長野市立博物館  
発行

長野市小島田町八幡原史跡公園内

☎ 0262 (84) 9011

印刷 西沢印刷株式会社

---

---

